

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0131
評価年度 令和 5年度
所属 1440
事務事業番号 00457

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所保健総務課
総合保健対策事業

所属長名 大石 達也
記入者 黒飛 充史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします			
施策	008	保健衛生の確保			
取組の方向性	001	健康危機管理対策の推進			
事務事業	006	総合保健対策事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	健康増進法				
事業概要	(事業概要) 地域保健対策の推進のため、市内３か所の看護学校の運営に対して補助金を交付するとともに、化学物質過敏症対策や献血推進、地域職域連携などに関する事業を実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 医療の高度化や急速な高齢化の進行、新型コロナウイルス感染症への対応などに伴い多様化する医療ニーズに対応するため、看護職員の確保を図っていくことが求められている。また、市民の健康増進を図るため地域や職場での健康づくりの取組が求められている。 (見直しや改善等の経過) 医療現場だけでなく、福祉施設等においても看護職の需要が高まってきていることから、看護学校への補助金を継続し、補助金制度適正化方針により設定している補助金の終期を令和７年度に延長している。また、令和３年度から骨髄等移植ドナー助成事業を実施している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	関係機関、団体及び市民を対象に
目的(何のために)	地域の保健医療の推進を図るため
手段(どのようなやり方で)	看護学校への運営補助及び骨髄等移植ドナーへの助成金を交付するとともに、各事業の実施にあたっては、関係機関、団体と連携を図り事業を推進することで
成果(どのような状態にするのか)	市民が生き生きと健康で安心して生活できる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	11,571	11,641	12,659	12,828	12,828	12,828	12,828
事業費	7,359	7,429	7,589	7,758	7,758	7,758	7,758
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	210	235	280	280	280	280	280
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,149	7,194	7,309	7,478	7,478	7,478	7,478
人件費計	4,212	4,212	5,070	5,070	5,070	5,070	5,070
事務・技術（人）	0.54	0.54	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

392 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0131
評価年度 令和 5年度
所属 1440
事務事業番号 00457

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所保健総務課
総合保健対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-37-00-01-00	総合保健対策事業費	健康保険部保健所保健総務課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)看護学校運営費補助金交付額	千円	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00
		6,800.00	6,800.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)献血会場の提供回数	回	4.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		5.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)看護師及び准看護師試験合格者数	人	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		78.00	81.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)献血者数	人	470.00	510.00	510.00	510.00	510.00	510.00	510.00
		510.00	523.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由	看護職の養成に係る運営補助を市が積極的に取り組む必要がある。				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由	看護職の合格者数、献血者数ともに増加した。				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由	成果指標がともに増加しており、費用対効果が上がっている。				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由	地域医療における人材及び資源の確保につながっている。				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	市民が生き生きと健康で安心して生活するためには、地域における医療人材及び医療資源等の基盤づくりが必要である。医療人材を安定して確保するためには、持続的な看護職の養成が必要であることから、補助事業に加えて効果的な方法を検討し継続する。献血事業は、献血の意義や必要性について、特に若年層への啓発を通じ、献血者の確保に努めるとともに、骨髄等移植ドナー助成金については、市民や事業者に対しての周知に努め、骨髄等の移植の促進を図る。また、地域や職域等関係団体との連携強化により市民の健康増進を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民が生き生きと健康で安心して生活するため、地域における医療人材及び医療資源等の確保に努めた。今後、看護学校への運営補助は当該事業の果たす役割を考慮し地域における医療人材を安定的に確保する。献血及びドナー助成事業については、市民・事業者へ広く周知し、地域の医療資源の確保に努める。		

393 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0132
評価年度 令和 5年度
所属 1440
事務事業番号 02380

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所保健総務課
健康危機管理体制整備事業

所属長名 大石 達也
記入者 片岡 聡志

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします			
施策	008	保健衛生の確保			
取組の方向性	001	健康危機管理対策の推進			
事務事業	004	健康危機管理体制整備事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 健康危機事案が発生した場合に、迅速かつ効果的な対応を行うため、平常時より健康危機事案の発生に備えて事前に講じられる対策を検討する。 災害発生時において関係機関等と連携を図り医療救護活動等を円滑に進める体制整備を行う。 災害発生時に備えるため、医薬品の備蓄や災害対策備品の確保と維持を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境）近年、巨大地震や頻発する豪雨災害など、自然災害による甚大な被害が懸念されていることに加え、新型コロナウイルス感染症対応を踏まえ、新たな感染症危機など、次の脅威に備えるため、健康危機管理体制の一層の強化が求められている。 （見直しや改善等の経過）新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、外部リソースの活用や感染拡大時における全庁的な職員応援体制の整備等に向けた検討を進めた。また、健康危機事案への対応体制の一層の強化に向け、防災訓練及び研修等を実施し、職員の災害対応能力の維持・向上に努めるとともに、関係機関と平時から緊密な連携を図るため大津市健康危機管理対策協議会及び専門部会を開催した。あわせて、大規模災害時の医療救護活動等に必要な災害対策用品について、感染症対応も含め、備蓄の充実強化を図っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、関係機関及び団体を対象に
目的(何のために)	健康危機事案の発生を未然に防止するとともに、健康危機事案が発生した場合においても、市民の生命と健康の安全確保を図ることを目的に
手段(どのようなやり方で)	関係機関が連携して対応ができる体制の整備、健康危機事案を想定した訓練の実施及び備蓄医薬品等を維持管理することで
成果(どのような状態にするのか)	災害医療救護活動等を円滑に進めることにより、市民の生命と健康の安全確保を図ることができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	10,672	8,404	9,411	11,807	9,411	10,177	9,411
事業費	4,978	2,710	2,937	5,333	2,937	3,703	2,937
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,978	2,710	2,937	5,333	2,937	3,703	2,937
人件費計	5,694	5,694	6,474	6,474	6,474	6,474	6,474
事務・技術（人）	0.73	0.73	0.83	0.83	0.83	0.83	0.83
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

395 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0132
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1440 健康保険部保健所保健総務課
事務事業番号 02380 健康危機管理体制整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-37-00-21-00	健康危機管理体制整備事業費	健康保険部保健所保健総務課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)健康危機対応訓練の実施回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		3.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)健康危機対応訓練の参加者数	人	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
		61.00	137.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		健康危機から市民の生命や健康を守るための体制整備が市の責務。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		災害時の保健医療活動体制構築のための訓練、連携推進を図った。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		関係機関との連携により、実践的、効率的な体制を整備した。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		健康危機事案発生時に即応するための体制を強化している。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	大津市三師会をはじめ、関係機関との連携強化を含めた災害対応訓練、DMATとの連携訓練を実施した。また、次の感染症危機に備え、健康危機対処計画を策定し、事務職員の兼務辞令発令に先駆けた支援体制の整備に向けた検討を進めた。今後、感染症対応を踏まえた、より実効性のある訓練や研修の実施により、職員の危機管理意識や対応能力向上を図るとともに、あらゆる災害を想定した健康危機事案への対応体制の一層の強化に向け、関係機関と平時から情報共有及び連携体制について協議する場として大津市健康危機管理対策協議会専門部会等を定期的に開催し、緊密に連携を図っていく。		

【部局評価結果】	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	健康危機事案への対応能力の更なる強化に向け、三師会をはじめ関係機関・団体との連携を密にし、新たな危機への対応を想定した健康危機管理体制の強化に努める。		

396 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0133
評価年度令和 5年度
所属1440
事務事業番号02391

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所保健総務課
健康おおつ２ 1 推進事業

所属長名 大石 達也
記入者 平田 恵美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	003	健康おおつ２ 1 推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	健康増進法					
事業概要	(事業概要) 健康増進法に基づき平成２５年度に策定した第２次計画を、市民や関係団体等に周知するとともに、その目標達成に向けた各種関連事業を推進していく。 第２次計画は令和５年度に終期を迎えることから、次期計画「健康おおつ２ 1（第３次計画）・第４次大津市食育推進計画」を策定した。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 個人の取組に加え、社会全体で個人の健康を支え、健康づくりに取り組める環境を整えることが求められている。令和５年に国の健康日本２ 1（第三次）が策定され、全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現に向け、誰一人取り残さない健康づくりの展開とより実効性をもつ取組の推進を通じて、国民の健康増進の総合的な推進を図るための基本的な事項が示された。 (見直しや改善等の経過) 令和５年度は、健康おおつ２ 1 推進会議を開催し、第２次計画の評価と次期計画の策定に向けて検討を行った。次期計画は、大津市食育推進計画と一体的に策定し、統合的に取組を進めていく。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、関係団体、民間事業者などを対象に
目的(何のために)	市民一人ひとりがともに支え合いながら希望や生きがいをもち、ライフステージに応じて、すこやかで心豊かに生活できる健康なまちづくりを目指すため
手段(どのようなやり方で)	健康おおつ２ 1（第２次計画）に基づき、市民の健康づくりのための保健事業を総合的に推進する。社会全体で市民の健康を支え、守るための環境整備に努めることで
成果(どのような状態にするのか)	市民一人ひとりが健康づくりに取組むことにより、健康寿命が延伸される。

		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		7,739	12,826	4,267	4,216	4,216	4,216	6,051
事業費	事業費	95	4,168	211	160	160	160	1,995
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	95	4,168	211	160	160	160	1,995
	人件費計	7,644	8,658	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056
	事務・技術（人）	0.98	1.11	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52
	技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0133
評価年度 令和 5年度
所属 1440
事務事業番号 02391

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所保健総務課
健康おおつ2 1 推進事業

【関連予算情報】	
予算事業	予算事業番号
01-20-05-05-37-00-23-00	健康おおつ2 1 推進事業費
予算所属名称	
健康保険部保健所保健総務課	

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)健康おおつ2 1 推進会議開催回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)健康おおつ2 1 計画平均進捗率	%	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
		43.00	53.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】	
評価項目	評価の観点
1	妥当性
	実施主体又は手段は妥当か
	A 妥当である
	B ほぼ妥当である
	C あまり妥当ではない
2	有効性
	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか
	A 上がっている
	B やや上がっている
	C あまり上がっていない
3	効率性
	事業手法は効率的であるか
	A 効率的である
	B やや効率的である
	C あまり効率的でない
4	施策への貢献度
	施策目標の達成に貢献しているか
	A 貢献している
	B やや貢献している
	C あまり貢献していない
	評価理由
	健康おおつ2 1計画のもと、市は健康づくりを推進する必要がある
	健康寿命は延伸している
	事業を体系的にまとめ、効率的に実施している
	計画の推進により健康な市民の増加、健康寿命延伸に繋がっている

【所属評価結果】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当
所属コメント (400文字)	事業の方向性
	拡大
	令和5年度に策定した健康おおつ2 1（第3次計画）・第4次大津市食育推進計画に基づき、全ての市民が生涯を通じて、健やかに心豊かに生活できる持続可能な社会を実現するため、誰一人取り残さない生涯を通じた健康づくりを推進する。
	新たな目標に向け、各事業を実施するとともに、進捗管理の見直しを行い効果的に事業を推進していく。
	健康おおつ2 1応援団の登録事業所との連携をさらに深めるとともに、健康フェスティバル等を活用し、市民の健康寿命に関する意識啓発に努める。

【部局評価結果】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当
部局コメント (400文字)	事業の方向性
	拡大
	令和5年度に策定した健康おおつ2 1（第3次計画）・第4次大津市食育推進計画に掲げた施策を確実に推進していく。
	健康おおつ2 1応援団の登録事業所数を拡大するための取り組みを推進するとともに、健康おおつ2 1応援団との連携の強化を図る。

事務事業評価シート（１／２）

400 頁
令和 6年 9月18日

整理番号0134
評価年度令和 5年度
所属1449
事務事業番号01905

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所地域医療政策課
医療確保対策事業

所属長名 荒木 浩一
記入者 黒柳 麻里子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	002	地域医療の充実				
事務事業	004	医療確保対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	医療法、大津市補助金等交付規則					
事業概要	(事業概要) 地域医療機関の充実を図り、市民へ継続的に安定した医療を提供するため、拠点病院や大津市医師会、大津市歯科医師会等と連携して、①休日・夜間に重症患者を受け入れる後方医療機関の確保、②小児救急患者の受入れ体制の確保、③休日歯科診療体制の整備、④不採算医療を実施している公的病院における各事業などに対して負担金、補助金を交付している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に救急患者数が減少したものの、再び増加に転じたことや今後の高齢化の進展及び勤務形態の多様化により、休日・夜間の救急利用へのニーズは今後拡大することが見込まれる。 (見直しや改善等の経過) 小児救急医療の体制強化の実現や協定書の締結、私的二次救急医療対策補助事業や電力・ガス価格高騰対策支援金の創設など常に効果的な事業運営の改善に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	地域の医療機関に対し
目的(何のために)	夜間及び休日、地域に必要な医療体制（後方医療、小児救急医療、公的病院等運営、私的二次救急医療）の確保等を図るために
手段(どのようなやり方で)	事業実施に必要な負担金、補助金を交付することで
成果(どのような状態にするのか)	必要な医療提供体制を確保をする

【コスト】

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	150,227	166,715	134,167	123,307	123,307	123,307	123,307
事業費	138,605	155,795	124,417	113,557	113,557	113,557	113,557
国庫支出金	25,229	41,130	0	0	0	0	0
県支出金	18,173	18,241	18,173	18,200	18,200	18,200	18,200
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	95,203	96,424	106,244	95,357	95,357	95,357	95,357
人件費計	11,622	10,920	9,750	9,750	9,750	9,750	9,750
事務・技術（人）	1.49	1.40	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

401 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0134
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1449 健康保険部保健所地域医療政策課
事務事業番号 01905 医療確保対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-40-00-03-00	医療確保対策事業費	健康保険部保健所地域医療政策課

【定量評価】

		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)後方医療、公的病院等運営、私的二次救急医療補助金	千円	82,374.00	82,312.00	82,637.00	82,892.00	82,892.00	82,892.00	82,892.00
		81,893.00	82,268.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)後方医療、公的病院等、私的二次救急医療機関受入患者数	人	9,769.00	11,400.00	12,100.00	12,100.00	12,100.00	12,100.00	12,100.00
		11,221.00	11,870.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)小児救急医療体制確保日数	日	365.00	366.00	365.00	365.00	365.00	366.00	365.00
		365.00	366.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)小児救急医療の受診者数	人	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00
		6,947.00	9,397.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		安心に暮らせる医療体制の構築は市として必要不可欠である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		小児医療や二次救急等は年間を通じ救急医療体制が確保されている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		輪番制や拠点病院方式により効率的な医療提供体制を確保している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		補助金の交付で安全安心な医療提供体制の構築に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	救急医療や小児医療等については、市民生活に必要な不可欠なものであることから、今後も安定した医療提供体制を維持していく。また、各医療機関への助成については、国の予算措置の状況を踏まえ対応していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	救急患者の受入体制や休日夜間の医療提供体制を整備し充実するため、医療機関や大津市医師会、大津市歯科医師会と連携を図るとともに、医療機関等に対する適切な支援を行っていく。		

402 頁
令和 6年 9月18日

評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了
所属	1449	健康保険部保健所地域医療政策課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	01905	医療確保対策事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0135
評価年度 令和 5年度
所属 1449
事務事業番号 02586

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所地域医療政策課
在宅医療・介護連携事業

所属長名 荒木 浩一
記入者 高田 沙織

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	003	在宅医療の充実				
事務事業	001	在宅医療・介護連携事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	介護保険法					
事業概要	(事業概要) 介護保険法における地域支援事業の一つに位置付けられている。在宅医療、在宅療養に必要な患者が増加している中、住み慣れた地域で最期まで安心して生活できるよう、在宅医療連携拠点の整備、保健、医療、介護、福祉等の関係機関が連携を強化して医療福祉の推進を図る。また、大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画等に基づき本市において医療介護関係者、市民、行政が地域の課題を共有し、それに応じた取組を推進する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴う、在宅医療、在宅療養への多様なニーズに対応するために、地域の実情に応じた医療介護連携の推進・充実が求められている。 (見直しや改善等の経過) 拠点訪問看護ステーションでは、医療介護連携・相談の中核として、地域の医療・介護の専門職から相談を受け、課題解決を図っている。また、地域包括支援センターでは、市民相談・啓発の中核として、オンライン形式など工夫しながら地域の実情に応じた市民啓発を実施している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、医療関係機関及び介護、福祉等の関係機関を対象に
目的(何のために)	市民の誰もが住み慣れた地域で、安心して最期まで生活、療養できるようにするために
手段(どのようなやり方で)	在宅医療連携拠点の運営、在宅療養支援体制の整備、在宅療養・看取りについての普及・啓発などの「在宅医療・介護連携推進事業」を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	市民が在宅療養に対する理解を深め、安心して在宅療養を選択することができる

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,285	15,901	21,786	29,848	29,848	29,848	29,848
事業費	11,165	10,831	15,156	23,218	23,218	23,218	23,218
国庫支出金	4,298	4,169	5,836	8,939	8,939	8,939	8,939
県支出金	2,149	2,085	2,918	4,470	4,470	4,470	4,470
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,568	2,491	3,486	5,341	5,341	5,341	5,341
一般財源	2,150	2,086	2,916	4,468	4,468	4,468	4,468
人件費計	3,120	5,070	6,630	6,630	6,630	6,630	6,630
事務・技術(人)	0.40	0.65	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0135
評価年度 令和 5年度
所属 1449
事務事業番号 02586

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所地域医療政策課
在宅医療・介護連携事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-05-68-00-07-00	在宅医療・介護連携事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 拠点訪問看護ステーションへの相談件数	件	265.00	275.00	285.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		175.00	226.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 医療ニーズの高い方への支援に対するケアマネの不安割合	%	65.00	60.00	55.00	50.00	45.00	45.00	45.00
		52.70	56.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 市民啓発活動の開催回数	回	7.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		10.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 市民啓発活動の参加者数	人	2,000.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		7,867.00	460.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由	高齢者福祉計画・介護保険事業計画等に基づき本市が実施している				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由	市民意識調査で、在宅療養に関する理解度が上がっている				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由	地域包括支援センターが、他事業と連動しながら事業実施している				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由	在宅医療・介護連携推進事業は施策目標に貢献している				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	地域資源を活用し、市民講座やラジオ媒体による啓発など取組を実施してきた。今後も市民、医療・介護関係者への相談に対応しながら、地域の実情に応じた取組の実施に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	在宅医療・介護連携を推進するため、今後も拠点訪問看護ステーションを起点とした医療介護関係者への相談支援や、在宅医、訪問看護ステーション及びケアマネジャーとのネットワーク構築に取り組むとともに、引き続き地域包括支援センターを起点とした市民啓発に取り組んでいく。		

405 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0136
評価年度 令和 5年度
所属 1449
事務事業番号 03761
【基本情報】
進捗区分 評価完了
健康保険部保健所地域医療政策課
地域医療推進事業

所属長名 荒木 浩一
記入者 高田 沙織

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	002	地域医療の充実				
事務事業	005	地域医療推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	医療法、滋賀県保健医療計画					
事業概要	（事業概要） 在宅医療、在宅療養の必要な患者が増加している中、住み慣れた地域で最期まで安心して生活できるよう、訪問診療・訪問看護体制の強化及び医療・介護連携推進事業、地域リハビリテーション支援体制整備事業を推進する。保健、医療、介護、福祉等の関係機関が連携を強化して地域医療の充実を図るため、各種協議の場を設置し、事業を展開している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 高齢化の進展に伴い、在宅医療、在宅療養への多様なニーズに対し、保健、医療、介護、福祉等の各サービスが包括的、継続的に提供されるために、地域の医療提供体制の整備・充実が求められている。 （見直しや改善等の経過） 訪問診療の体制強化に向け、病院が訪問診療を実施している医療機関をバックアップする体制を構築した。また、質の高い訪問看護サービスが安定的に供給されるよう、機能強化型訪問看護ステーションの整備を進めている。					

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	市民、医療関係機関及び介護、福祉等の関係機関を対象に
目的(何のために)	市民の誰もが住み慣れた地域で安心して最期まで生活、療養できるようにするために
手段(どのようなやり方で)	訪問診療・訪問看護体制の強化、地域リハビリテーション支援体制の整備充実等、「おおつ保健医療プラン2019」及び「大津市ゴールドプラン」に基づく各施策を展開することで
成果(どのような状態にするのか)	在宅療養者が住み慣れた地域で安心して最期まで生活できるようにする。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		21,586	32,432	40,848	41,056	41,056	41,056	41,056
事業費	事業費	9,730	21,824	31,488	31,696	31,696	31,696	31,696
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	9,730	21,824	31,488	31,696	31,696	31,696	31,696
	人件費計	11,856	10,608	9,360	9,360	9,360	9,360	9,360
	事務・技術（人）	1.52	1.36	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
	技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0136
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1449 健康保険部保健所地域医療政策課
事務事業番号 03761 地域医療推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-40-00-02-00	地域医療推進事業費	健康保険部保健所地域医療政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)訪問看護ステーション事業所の補助申請受付件数	件	1.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		1.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)機能強化型訪問看護ステーションの数	件	3.00	3.00	3.00	3.00	4.00	5.00	5.00
		3.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)地域リハビリテーション関係研修会開催数	回	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
		5.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)地域リハビリテーション関係研修会参加施設、事業所数	施設	145.00	145.00	145.00	145.00	145.00	145.00	145.00
		99.00	102.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		高齢者福祉計画・介護保険事業計画等に基づき本市が実施している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		在宅医療の提供体制の強化に繋がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		在宅医療関係者の確保と質が向上している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		在宅医療の体制強化は地域医療の充実に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	訪問診療の体制強化として、訪問診療を実施している医療機関をバックアップする体制を3つの病院で整備することができた。また、質の高い訪問看護サービスを安定的に供給できる機能強化型訪問看護ステーションを3か所整備し、連携強化に努めている。今後の医療需要に備え、令和5年度から訪問看護拡充事業を創設し、更なる体制整備を進めている。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	住み慣れた地域で安心して在宅療養できる支援体制を構築するため、これまで訪問診療の体制強化（病院によるバックアップ体制の構築）に取り組んでおり、更に令和5年度から訪問看護の体制強化（機能強化型訪問看護ステーション数の増加）を実施している。今後の超高齢社会の進展による訪問診療の需要増加に対応できるよう、更なる訪問診療及び訪問看護の体制強化に取り組んでいく。		

408 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

409 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0137
評価年度 令和 5年度
所属 1441
事務事業番号 00503

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所衛生課
食品衛生自主管理推進事業

所属長名 服部 賢一
記入者 安田 敬子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします			
施策	008	保健衛生の確保			
取組の方向性	003	食品の安全性の確保			
事務事業	003	食品衛生自主管理推進事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	食品衛生法、食品安全基本法				
事業概要	食品等事業者の自主衛生管理を推進するため、講習会の開催、動画配信等を行うとともに、滋賀県食品衛生協会に対して食品関係営業施設への巡回活動を委託し事業者への自主衛生管理意識の定着を図る。 また、食品等事業者への衛生水準の意識向上を図るため、食品衛生功労者及び食品衛生優良施設に対する表彰を実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 2021年にH A C C Pに沿った衛生管理の制度が完全施行され、約3年が経過した。様々な種類の食品に加えて、多種多様な業種・規模が混在する食品事業者に対して画一的な普及は困難である。特に、小規模事業者では馴染みのない科学的な根拠や文書化、記録等の作業が普及のための障害となっている。 (見直しや改善等の経過) 「H A C C Pに沿った衛生管理」の普及定着のため、講習会の開催や動画配信を行うとともに、食品衛生推進員がその知見と経験を活かし、飲食店や小規模事業者を支援する体制を整備する。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	食品等事業者、従事者及びその関係団体等を対象に
目的(何のために)	食品等事業者自らが衛生管理を推進して、食品衛生水準の向上が図られるために
手段(どのようなやり方で)	講習会、動画配信、食品衛生推進員による関係営業施設への巡回活動の委託及び優良施設等の市長表彰を行うことにより
成果(どのような状態にするのか)	食品等事業者は、自らが食品の安全確保に関して第一義的責任を有していることの認識を持ち、食品安全に係る自主的な衛生措置を講じるようになる。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		9,970	10,693	9,257	9,242	9,242	9,242	9,242
事業費		1,390	1,333	1,457	1,442	1,442	1,442	1,442
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		1,390	1,333	1,457	1,442	1,442	1,442	1,442
一般財源		0	0	0	0	0	0	0
人件費計		8,580	9,360	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800
事務・技術（人）		1.10	1.20	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

410 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0137
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1441 健康保険部保健所衛生課
事務事業番号 00503 食品衛生自主管理推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-15-00-15-00	食品衛生自主管理推進事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】								
上段：目標値 下段：実績値								
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 営業者対象自主衛生管理講習会実施回数	回	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00
		8. 00	11. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果) 営業者対象自主衛生管理講習会受講者数	人	600. 00	600. 00	600. 00	600. 00	600. 00	600. 00	600. 00
		613. 00	574. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果) 高度自主衛生管理実施施設数	施設	22. 00	23. 00	24. 00	25. 00	26. 00	27. 00	27. 00
		21. 00	23. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

【定性評価】				
評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
			B ほぼ妥当である	
			C あまり妥当ではない	
			D 妥当ではない	
	評価理由	食品衛生法に基づき、市が実施することは妥当である。		
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
			B やや上がっている	
			C あまり上がっていない	
			D 上がっていない	
	評価理由	高度自主衛生管理実施施設が2件増加した。		
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
			B やや効率的である	
			C あまり効率的でない	
			D 効率的でない	
	評価理由	動画研修を実施し、講習会の実施回数が増加した。		
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
			B やや貢献している	
			C あまり貢献していない	
			D 貢献していない	
	評価理由	食品施設の衛生確保、食品の安全確保につながり貢献している。		
	評価理由			

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	従来より高度な自主衛生管理に取り組む施設が、新たに「大津市HACCP適合証明」を取得する等、食品等事業者の衛生管理意識の向上が確認できた。食品等事業者自らが衛生管理を推進していくために、食品衛生推進員と保健所が協働し、義務化された「HACCPに沿った衛生管理」の導入指導を引き続き行っていく。その活動に際し、食品等事業者に対する的確な情報提供や指導助言等を行う必要があることから、食品衛生推進員に対する講習並びに食品衛生担当職員の知識技術の向上に努めていき、その手段として、集合型研修に加え、動画配信、リモート講習会等の効率的な形式を取り入れ、実効性の向上を図っていく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市内の食品事業者が法を遵守し、制度化された衛生管理を実施できるよう、義務化された「HACCPに沿った衛生管理」の導入に関して、施設規模に応じたきめ細かな指導を行うとともに、食品衛生推進員や関係団体と連携した巡回・監視を実施するなど、効果的な事業推進により食品事業者の衛生意識のさらなる向上を図っていく。		

411 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

412 頁
令和 6年 9月18日

整理番号0138
評価年度令和 5年度
所属1441
事務事業番号00505

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所衛生課
衛生検査事業

所属長名 服部 賢一
記入者 竹田 恵美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	001	健康危機管理対策の推進				
事務事業	002	衛生検査事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	食品衛生法、公衆浴場法、感染症法、医薬品医療機器法、有害家庭用品規制法等					
事業概要	食品衛生法等に基づく成分規格等の基準適否判断のための検査、食中毒や感染症の原因究明と感染拡大防止のための検査及び浴場水、医薬品等の検査を実施する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 食中毒予防等に係る食品衛生や残留農薬、食品添加物及び放射性物質等に係る食品の安全性についての市民の関心は高く、正確かつ迅速な検査の実施が求められている。 (見直しや改善等の経過) 法改正による規格基準の改正等に迅速に対応するため、標準作業書の策定又は改定による検査体制の整備、また、精度管理の充実を図る等検査体制の一層の強化を行っている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	収去食品等を
目的(何のために)	市内で製造又は販売される食品等について食中毒の発生防止と不良食品の流通防止を図り、食中毒及び感染症の原因を究明しその拡大を防止するため、
手段(どのようなやり方で)	残留農薬等の理化学検査及び病原性微生物等の微生物検査を標準作業書等に基づき適正かつ迅速に実施し、
成果(どのような状態にするのか)	信頼性の高い検査結果を報告することで、衛生確保の推進に寄与する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	47,461	46,587	45,973	45,973	45,973	45,973	45,973
事業費	11,126	11,123	11,133	11,133	11,133	11,133	11,133
国庫支出金	8	12	9	9	9	9	9
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	11,118	11,111	11,124	11,124	11,124	11,124	11,124
人件費計	36,335	35,464	34,840	34,840	34,840	34,840	34,840
事務・技術(人)	4.40	4.28	4.20	4.20	4.20	4.20	4.20
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

413 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0138
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1441 健康保険部保健所衛生課
事務事業番号 00505 衛生検査事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-20-00-10-00	衛生検査事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)衛生課試験検査室における食品等検査標準作業書数	件	150.00	153.00	153.00	153.00	153.00	153.00	153.00
		153.00	153.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)食品等の検査標準作業書等に基づく検査実施率	率（％）	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		関係法令に基づく検査のため妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		正確かつ迅速な検査の実施は、不良食品の流通防止等に有効である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		「市食品衛生監視指導計画」に基づき効率的に検査を実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		正確迅速な検査は市民の食の安全・安心の確保に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （400文字）	不良食品の流通防止、食中毒等健康被害の発生、拡大防止及び原因究明を図るため、食品衛生法等に基づく正確かつ迅速な検査体制を維持継続する。また、関係機関との連携及び実技研修等への参加を進めることで法令等改正に対応できるように最新の知識と技術の習得に努め、検査担当職員の人材育成を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （400文字）	不良食品や食中毒による健康被害やその被害拡大を防止するため、検査技術の精度向上や担当職員のキャリアに応じた研修への参加等を積極的に進めることにより、関係法令等の改正や新たな検査項目の追加等にも対応できる質の高い衛生検査を実施していく。		

414 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0139
評価年度令和 5年度
所属1441
事務事業番号00506

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所衛生課
環境検査事業

所属長名 服部 賢一
記入者 竹田 恵美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします			
施策	008	保健衛生の確保			
取組の方向性	001	健康危機管理対策の推進			
事務事業	003	環境検査事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	水質汚濁防止法、琵琶湖再生法、大津市環境基本条例等				
事業概要	水質汚濁防止法、琵琶湖再生法、大津市環境基本条例等に基づき工場、事業場（発生源）からの排水等の調査、河川等の公共用水域の水質調査等に係る検査を実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 琵琶湖が身近にあり、市民の水環境への関心は非常に高く水質検査のニーズは高い。琵琶湖流入河川の水質監視についてもこれまで以上の充実が求められている。 (見直しや改善等の経過) 排水基準の改正等に迅速に対応するため、環境行政部門との連携を推進し、精度管理の充実を図ることで、検査体制の強化を行う。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	環境及び発生源の水質等を、
目的(何のために)	市民の生活環境の保全のため、
手段(どのようなやり方で)	関係法令に基づき正確かつ迅速に標準作業書等に従って検査を行い、
成果(どのような状態にするのか)	信頼性のある精度の高い検査を行うことで、環境施策の推進に寄与する。

		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		14,810	14,652	15,592	15,592	15,592	15,592	15,592
事業費	事業費	1,394	1,392	1,396	1,396	1,396	1,396	1,396
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,394	1,392	1,396	1,396	1,396	1,396	1,396
	人件費計	13,416	13,260	14,196	14,196	14,196	14,196	14,196
	事務・技術（人）	1.72	1.70	1.82	1.82	1.82	1.82	1.82
	技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0139
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1441 健康保険部保健所衛生課
事務事業番号 00506 環境検査事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-20-00-15-00	環境検査事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)衛生課試験検査室における環境検査標準作業書数	件	63.00	64.00	66.00	66.00	66.00	66.00	66.00
		64.00	66.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)環境検査標準作業書等に基づく検査実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		排水基準の適否確認等を行う根拠となる検査のため妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		精度の高い検査は環境政策の推進に寄与することから有効である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		事業場排水調査計画等に基づき効率的に検査を実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		高精度な検査は生活環境保全の措置等の根拠となり貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	環境に対する市民の意識は高く、環境検査の必要性は高い。また、検査精度の向上を目的とした検査手法の検討のほか、法令の改正等による基準項目の追加や見直しへの対応として改正が見込まれる検査法にも対応できるように関係機関との連携及び実技研修等への参加によって最新の知識、技術の習得及び検査法の導入を積極的に進める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民の環境問題に対する関心や要望が高まる中、水質検査による監視の必要性は増しており、実技研修参加等による人材の育成や最新の知識と技術の習得に努め、信頼性のある精度の高い検査を迅速に実施することにより良好な生活環境の維持を図る。		

417 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0140
評価年度令和 5年度
所属1442
事務事業番号00496

進捗区分評価完了
健康保険部保健所動物愛護センター
動物愛護管理事業

所属長名畑先 益男
記入者水田 晋介

【基本情報】					
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします			
施策	027	住環境の整備			
取組の方向性	003	動物愛護の推進			
事務事業	001	動物愛護管理事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	動物の愛護及び管理に関する法律・滋賀県動物の保護および管理に関する条例				
事業概要	(事業概要) 法及び条例に基づき、動物が命あるものであることを基本に、動物について関心と理解を深め、動物を適正に取り扱い、飼養管理することにより、人と動物が共生できる調和の取れた社会の実現に向けて、犬猫の飼い方指導や相談、飼えなくなった犬猫の引き取りや飼い主不明の犬猫の保護とそれらの譲渡などを行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 収容される犬の返還率は高水準であり、収容前に所有者が判明する事例も増加傾向であるものの、犬の鳴き声や野良猫への餌やり、多頭飼育に関する苦情相談は、依然としてセンターに寄せられている。 なお、改正動物愛護管理法の施行により、令和4年6月1日から犬・猫へのマイクロチップの装着が原則として義務付けられている。 (見直しや改善等の経過) 全体として苦情相談件数は減少傾向だが、飼育放棄相談やその他犬猫により生じる生活環境被害に関する苦情は一定寄せられており、適正飼養等に関する普及啓発を継続することで、人と動物が共生する社会を目指す。				

【事業分析】					
対象(何又は誰を)	犬猫の飼い主もしくはこれから犬猫を飼おうと考えている人に				
目的(何のために)	人と動物が共生できる調和の取れた社会の実現のため				
手段(どのようなやり方で)	犬猫を適正に、また終生飼養することを学んでいただくための講習会等を開催し、飼い主等の意識を高めることで				
成果(どのような状態にするのか)	犬猫の返還・譲渡率を向上させる。				

【コスト】	(単位：千円)						
	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,029	13,059	18,229	14,980	14,980	14,980	14,980
事業費	2,699	2,699	7,869	4,620	4,620	4,620	4,620
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	525	654	621	621	621	621	621
一般財源	2,174	2,045	7,248	3,999	3,999	3,999	3,999
人件費計	11,330	10,360	10,360	10,360	10,360	10,360	10,360
事務・技術(人)	1.00	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
技能労務(人)	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
会計年度任用(人)	0.30	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0140
評価年度 令和 5年度
所属 1442
事務事業番号 00496

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所動物愛護センター
動物愛護管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-78-00-01-00	動物愛護管理事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 飼い方講習会等の参加者数	人	390.00	390.00	390.00	390.00	390.00	390.00	390.00
		246.00	255.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 返還・譲渡率（犬）	%	88.00	89.00	90.00	91.00	92.00	92.00	92.00
		97.00	86.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由	動物愛護の普及啓発等は、動物愛護管理法による市の事務である。				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由	返還・譲渡率について高い水準を維持している。				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由	犬猫の飼い方教室等の実施により適正飼養の啓発ができています。				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由	人と動物が共生する社会の実現に寄与している。				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	飼い方講習会等の主催事業を通じ、適正飼養の周知啓発を行うとともに、市民の動物愛護精神の醸成・涵養を図ることで、人と動物が共生する社会づくりに資するため、引き続き着実に事業を推進していく。また、多頭飼育問題については、関係機関等と連携を図りながら必要な対応をしていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	犬猫の返還・譲渡率は、高い水準を維持しており、今後も譲渡を推進し、飼い主の適正飼養の意識向上を図り、犬猫の致死処分ゼロを目指す。また、多頭飼育問題については、関係機関等と連携を図りながら必要な対応をしていく。		

420 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0141
評価年度令和 5年度
所属1442
事務事業番号00497

進捗区分評価完了
健康保険部保健所動物愛護センター
狂犬病予防事業

所属長名
記入者
畑先 益男
山川 和久

【基本情報】					
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします			
施策	027	住環境の整備			
取組の方向性	003	動物愛護の推進			
事務事業	002	狂犬病予防事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	狂犬病予防法・大津市狂犬病予防法施行細則				
事業概要	(事業概要) 平成12年度より、市の事業として狂犬病の発生予防、まん延防止及び撲滅のために、犬の登録や狂犬病予防注射事務を実施している。4、5月の集合注射実施や県内の動物病院でも登録と予防注射ができるよう滋賀県獣医師会に委託している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 狂犬病予防法により、日本では犬からの狂犬病は60年以上発生していないが、海外から不正に上陸する犬や野生動物での発生の危険性はあるため、引き続き本事業を推進していく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 集合注射案内ハガキ及び注射履歴未確認者への確認ハガキの送付による狂犬病予防注射の周知・啓発、並びに高齢犬の状況確認による犬の登録の適正化を行っている。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	大津市内で飼養されている犬の飼い主に
目的(何のために)	狂犬病の発生予防とまん延防止を図るため
手段(どのようなやり方で)	狂犬病予防集合注射の実施や、一部事務を滋賀県獣医師会へ委託し、県内の動物病院で年間を通じて注射と登録を実施するとともに、犬の登録・予防注射の周知、啓発を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	犬の登録や予防注射接種率を向上させる。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		20,635	18,699	21,570	20,874	20,874	20,874	20,874
事業費		6,463	6,445	8,746	8,050	8,050	8,050	8,050
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		6,463	6,445	8,746	8,050	8,050	8,050	8,050
一般財源		0	0	0	0	0	0	0
人件費計		14,172	12,254	12,824	12,824	12,824	12,824	12,824
事務・技術（人）		0.40	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
技能労務（人）		1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.00	0.90	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
会計年度任用（人）		0.42	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0141
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1442 健康保険部保健所動物愛護センター
事務事業番号 00497 狂犬病予防事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-16-00-01-00	狂犬病予防事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 狂犬病予防注射 督促ハガキ送付枚数	枚	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00
		5,619.00	5,669.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 狂犬病予防注射 接種率	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		79.00	79.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		犬の登録等は、狂犬病予防法による市の事務である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		狂犬病の伝播を絶つとされる接種率70%を超えている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		集合注射の会場について来場数に即して設定している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		国内において犬から人への狂犬病感染が発生していない。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	集合注射での接種頭数は年々減少しているものの、動物病院での注射頭数は増加しており、集合注射会場の統廃合や実施時間を継続的に見直し、さらなる接種率の向上に努める。		

【部局評価結果】	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	限られた時間や人員を有効に活用して事業を実施するため、集合注射について、これまでの実績を踏まえた上で、会場の統廃合や実施時間の設定などを見直し、さらなる接種率の向上に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1442 健康保険部保健所動物愛護センター
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00497 狂犬病予防事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 狂犬病予防注射 督促ハガキ送付枚数	枚	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00
		5,619.00	5,669.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	注射未実施の飼い主への督促ハガキ送付枚数						
(成果) 狂犬病予防注射 接種率	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		79.00	79.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	狂犬病予防注射接種頭数／登録頭数						

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0142
評価年度令和 5年度
所属1442
事務事業番号02212

進捗区分評価完了
健康保険部保健所動物愛護センター
地域猫活動支援事業

所属長名
記入者
畑先 益男
西田 健吾

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	027	住環境の整備				
取組の方向性	003	動物愛護の推進				
事務事業	003	地域猫活動支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市地域猫活動支援事業実施要綱					
事業概要	(事業概要) 飼い主の不明な猫に起因する排泄物等の被害が地域の環境問題となっていることから、地域住民グループが主体となってその猫を適正に管理する地域猫活動に対し動物愛護センターが不妊手術を施す等の支援を行い、一代限りの寿命を全うさせてその数を減らしていく。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 猫は登録やけい留義務がなく、飼い主の不明な猫を捕獲できる根拠もないため、地域の屋外にいる猫に関する諸問題がある。 (見直しや改善等の経過) 毎年地域猫活動団体に対しアンケートを実施しており、結果について取りまとめホームページで公開し、現状を周知し啓発している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内にいる飼い主の不明な猫を適正に管理する地域住民グループに
目的(何のために)	飼い主の不明な猫による排泄物等の被害に対する苦情、相談及びそういった猫が産んだ子猫の引き取り依頼に対処するため
手段(どのようなやり方で)	管理する猫をセンターに持ち込んでもらい、センターが不妊手術を施した後、地域に返し管理してもらい、その猫の一代限りの寿命を全うさせることで
成果(どのような状態にするのか)	飼い主の不明な猫の数を減らして、それらによる被害を減少させるとともに、それらの産んだ子猫の引き取り数を減らす。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		7,706	6,484	8,052	8,336	8,336	8,336	8,336
事業費		166	244	252	536	536	536	536
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		166	244	252	536	536	536	536
人件費計		7,540	6,240	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800
事務・技術（人）		0.80	0.80	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務（人）		0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

425 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0142
評価年度 令和 5年度
所属 1442
事務事業番号 02212

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所動物愛護センター
地域猫活動支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-78-00-02-00	地域猫活動支援事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 地域猫活動団体数（累計）	件	66.00	67.00	67.00	68.00	68.00	68.00	68.00
		74.00	85.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 子猫の引取り数	頭	45.00	45.00	23.00	23.00	23.00	23.00	23.00
		11.00	13.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】				基準		評価	
評価項目		評価の観点					
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A	
			B	ほぼ妥当である			
			C	あまり妥当ではない			
			D	妥当ではない			
	評価理由		飼い主の不明な猫の諸問題への対策は市の実施が妥当である。				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A	
			B	やや上がっている			
			C	あまり上がっていない			
			D	上がっていない			
	評価理由		団体が順調に増加し、子猫の引取り数が低い水準を維持している。				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A	
			B	やや効率的である			
			C	あまり効率的でない			
			D	効率的でない			
	評価理由		不妊手術について事前予約により計画的に実施している。				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A	
			B	やや貢献している			
			C	あまり貢献していない			
			D	貢献していない			
	評価理由		飼い主の不明な猫による諸問題への対策に貢献している。				
	評価理由						

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	飼い主の不明な猫による糞尿等に関する苦情相談はセンター開設当初から比べると大きく減少している。また、それらの猫が産んだと思われる子猫の引取り数も大きく減少している。活動団体へのアンケートでも、「猫が減った。」「猫がいなくなった。」など良好な回答が目立つことから、今後も継続して事業を実施する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市内各地域における地域猫活動団体数は増加し、活動が充実したことで、センターでの猫の引取り数は減少しており、本事業の成果が着実に現れているものと考えられる。今後も飼い主不明な猫の数を減らし、糞尿等による被害を減少させるため、引き続き市民への普及啓発に努め、事業を推進していく。		

426 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0143
評価年度令和 5年度
所属1443
事務事業番号00459

進捗区分評価完了
健康保険部保健所保健予防課
精神保健福祉事業

所属長名井上 誠
記入者大下 彩子

【基本情報】					
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします			
施策	007	健康増進と地域医療の充実			
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進			
事務事業	006	精神保健福祉事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 自殺対策基本法				
事業概要	(事業概要) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、精神障害者や精神保健に関する課題を抱える方への早期治療及び社会参加の促進を図るとともに、市民のメンタルヘルスの保持増進を図るための諸活動や精神障害者への理解を促すための啓発活動等を行う。 具体的には、精神保健福祉相談と緊急対応を含めた個別支援、早期介入支援、ケース検討会、家族交流会、家族会等の団体支援、自殺対策等を実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 精神障害者や精神保健に関する課題を抱える方が地域で安心して生活できるように地域包括ケアシステムの構築が求められている。また、ひきこもり対策や依存症対策においては、地域の支援体制づくりや医療の整備が求められている。 (見直しや改善等の経過) 自殺対策計画に基づき自殺対策に取り組んでいる。令和4年度より精神保健に関する課題を抱える方が地域で安定した生活が送れるよう大津市精神保健福祉に関する早期介入・支援事業を実施している。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	精神障害者や精神保健に関する課題を抱える方及び家族が
目的(何のために)	安定した社会生活を送ることができるために
手段(どのようなやり方で)	精神保健福祉相談と緊急対応も含めた個別支援、早期介入支援、ケース検討会、家族支援、従事者研修会、自殺対策、市民向け出前講座、街頭啓発等を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	精神障害者や精神保健に関する課題を抱える方及びその家族が適切な受診行動やサービス利用をすることにより、地域で安心して暮らすことができる。また、精神障害やメンタルヘルスに関心を持つ市民が増える。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		49,470	57,535	57,468	61,187	65,177	58,038	58,038
事業費		2,818	2,891	3,424	7,143	11,133	3,994	3,994
国庫支出金		197	153	488	235	235	235	235
県支出金		96	110	517	2,170	4,165	271	271
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		2,525	2,628	2,419	4,738	6,733	3,488	3,488
人件費計		46,652	54,644	54,044	54,044	54,044	54,044	54,044
事務・技術（人）		4.28	5.66	5.30	5.30	5.30	5.30	5.30
技能労務（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）		4.28	3.28	3.97	3.97	3.97	3.97	3.97
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

428 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0143
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
事務事業番号 00459 精神保健福祉事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-70-00-01-00	精神保健福祉事業費	健康保険部保健所保健予防課

【定量評価】

指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)精神保健福祉相談等実施回数	回		310.00	310.00	310.00	310.00	310.00	310.00	310.00
			311.00	310.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)いのちをつなぐ相談員派遣事業支援件数	件		2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
			3,076.00	2,810.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)精神保健福祉相談等延べ参加者数	人		8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00
			8,702.00	8,913.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)いのちをつなぐ相談員派遣事業新規対象件数	件		20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
			29.00	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
	評価理由	精神保健福祉法に基づき保健所が実施する内容である	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
	評価理由	目標を上回る相談件数や参加者数がある	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
	評価理由	相談、検討会、家族交流会、研修会等を計画的に実施できている	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
	評価理由	精神障害者の健康増進に寄与している	
	評価理由		

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	市民に対しては、精神疾患やメンタルヘルスに関する理解を深めてもらうため、啓発に努める。精神保健に関する課題を抱える方には、個別相談、家族交流会、研修会等を行う。また、自殺対策計画を基に、医療機関との連携を更に強化し、自殺未遂者支援の充実を図る。未受診や受診中断者等を対象に、引き続き精神保健福祉に関する早期介入・支援事業を実施し、地域の一員として安心して自分らしく暮らせるように支援する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	支援を必要とする精神保健に関する課題を抱える方や自殺未遂者に対し相談支援ができるよう、医療機関をはじめ、相談支援事業所や居宅介護支援事業所等の福祉関係機関、庁内関係各課と更なる連携を図る。また、自殺対策計画の着実な推進を図るとともに、メンタルヘルスに関する知識の普及啓発に努める。		

429 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

430 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0144
評価年度 令和 5年度
所属 1443
事務事業番号 00460

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所保健予防課
難病患者地域支援対策推進事業

所属長名 井上 誠
記入者 大下 彩子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	004	難病患者地域支援対策推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	難病の患者に対する医療等に関する法律・難病特別対策推進事業実施要綱					
事業概要	（事業概要） 難病は治療が確立しておらず長期療養が必要である。特に神経難病は、四肢麻痺や呼吸機能の低下により人工呼吸器の装着など重症化する事例が多い。そのため、状態に応じた支援の提供ができるよう在宅療養支援従事者の資質向上を目的とした従事者研修会等の実施とともに関係機関との難病対策地域協議会等の開催により、支援体制の充実を図る。 参考：令和5年度末 特定医療費受給者数3, 3 2 1人、うち神経難病9 9 0人、在宅人工呼吸器装着者3 8人					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 現在3 4 1疾患が指定難病対象疾患として指定されている。医療ケアを必要とする在宅療養患者のQOL向上のための更なる支援体制の充実、災害時における支援体制の整備が求められている。 （見直しや改善等の経過） 難病患者の在宅療養支援者対象の研修会、ケース検討会議を開催している。平成2 7年度より難病対策地域協議会で課題を検討しており、平成2 9年度からは災害支援部会も設置し災害時における支援体制整備を推進している。また、難病患者の個別相談に対応するために、専任の難病相談員を配置している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	介護支援専門員、訪問看護師、ヘルパー等の在宅療養支援従事者や難病患者とその家族を対象に
目的(何のために)	在宅療養支援従事者の資質向上と難病患者の災害時支援を含めた在宅療養支援体制の充実のために
手段(どのようなやり方で)	従事者研修会、ケアマネジメント・アドバイザー事業、ケース検討会議、難病対策地域協議会、個別相談を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	在宅療養支援従事者のケアマネジメントやケア技術が向上し、難病患者の支援体制が充実する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	8, 739	7, 985	11, 639	11, 639	11, 639	11, 639	11, 639
事業費	354	467	659	659	659	659	659
国庫支出金	318	308	290	281	281	281	281
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	36	159	369	378	378	378	378
人件費計	8, 385	7, 518	10, 980	10, 980	10, 980	10, 980	10, 980
事務・技術（人）	0. 92	0. 73	1. 10	1. 10	1. 10	1. 10	1. 10
技能労務（人）	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
再任用（人）	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
会計年度任用（人）	0. 39	0. 57	0. 75	0. 75	0. 75	0. 75	0. 75
嘱託（人）	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
臨時（人）	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0144
評価年度 令和 5年度
所属 1443
事務事業番号 00460

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所保健予防課
難病患者地域支援対策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-72-00-01-00	難病患者地域支援対策推進事業費	健康保険部保健所保健予防課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)従事者の資質向上にかかる事業の実施回数	回	24. 00	24. 00	24. 00	24. 00	24. 00	24. 00	24. 00
		15. 00	19. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(活動)難病に関する相談者数（延べ人数）	人	3, 355. 00	3, 355. 00	3, 355. 00	3, 355. 00	3, 355. 00	3, 355. 00	3, 355. 00
		3, 799. 00	3, 904. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果)従事者の資質向上にかかる事業の参加者数（延べ人数）	人	359. 00	359. 00	359. 00	359. 00	359. 00	359. 00	359. 00
		245. 00	244. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		難病特別対策推進事業実施要綱等で保健所業務として示されている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		目標に達していないが難病に関する相談者は増加している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		研修会と協議会を同日開催する等効率的に実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		療養が長期にわたる難病患者の在宅療養の質の向上に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （400文字）	在宅医療が推進される中で、難病患者においても在宅で医療機器を使用する等、医療ケアを必要とする患者が増加すると見込まれる。患者のQOL向上に向けた支援を提供できるよう、おたずね票や個別相談から対象者の状況把握に努め、在宅療養支援従事者の研修を行う。また、医療ケアを必要とする難病患者の災害時の対応について、個別避難計画作成推進室と連携して災害時個別避難計画の作成を進め、対象者の状況に合わせた見直しを図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （400文字）	難病患者の在宅療養を支えるため、医療機関や居宅介護支援事業所、庁内関係各課等とケース検討会議を通じて連携するとともに、研修会の実施により、従事者の資質向上に努める。また、災害時の難病患者の安全が確保できるよう、個別避難計画作成推進室と連携して個別避難計画の作成支援を着実に進めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00460 難病患者地域支援対策推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)従事者の資質向上にかかる事業の実施回数	回	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00
		15.00	19.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	従事者研修会、ケアマネジメント・アドバイザー事業、神経難病在宅支推進会議、ケース検討会議の実施回数						
(活動)難病に関する相談者数（延べ人数）	人	3,355.00	3,355.00	3,355.00	3,355.00	3,355.00	3,355.00	3,355.00
		3,799.00	3,904.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	特定疾患申請時面接相談、電話相談、訪問相談、その他面接相談の延べ人数						
(成果)従事者の資質向上にかかる事業の参加者数（延べ人数）	人	359.00	359.00	359.00	359.00	359.00	359.00	359.00
		245.00	244.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	従事者研修会、ケアマネジメント・アドバイザー事業、サービス調整推進会議、ケース検討会議、難病対策地域協議会の参加者数						

事務事業評価シート（１／２）

433 頁
令和 6年 9月18日

整理番号0145
評価年度令和 5年度
所属1443
事務事業番号00464

進捗区分評価完了
健康保険部保健所保健予防課
感染症予防事業

所属長名井上 誠
記入者吉田 未佳

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	002	感染症等の健康被害の発生防止				
事務事業	003	感染症予防事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律					
事業概要	（事業概要） 感染症の発生予防から感染拡大の防止及び感染症対策にかかる地域連携体制づくりを進めるため、感染症発生動向調査事業、予防啓発活動、感染症発生時の防疫対応、感染症対策従事者研修会、感染症対策実務担当者連絡会議等を行う。改正感染症法に基づき、新型コロナウイルス感染症対応の経験を踏まえた感染症予防計画を策定し、新興感染症の急拡大に備える。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 令和5年4月1日改正感染症法施行により、保健所設置市において感染症予防計画の策定が義務付けられた。令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類感染症に位置付けられた。 （見直しや改善等の経過） 社会福祉施設における感染性胃腸炎等の集団発生時には、過去に実地指導を行っていない施設等に重点をおいて指導した。高齢者・障がい者施設職員を対象に、PPE着脱訓練を含めた研修会を実施した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、保健・医療・福祉・教育機関等の関係者に対し
目的(何のために)	感染症の発生予防、感染拡大の防止、感染症対策にかかる地域連携体制づくり及び危機管理体制の整備のために
手段(どのようなやり方で)	ホームページ・メール配信システムや広報による情報提供、健康教育等による感染症に関する啓発活動、研修会や会議等による地域の感染症対策担当者の資質向上と課題の共有・解決に向けた検討会を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	感染症を正しく理解し、適切な行動により発生が予防でき、感染症集団発生リスクが高い施設等において適切に拡大防止策が講じられている。また、感染症対策にかかる地域連携体制が充実し、危機管理事案への対応ができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	759,261	384,696	50,233	50,705	50,783	50,783	50,783
事業費	593,537	344,980	23,245	23,795	23,795	23,795	23,795
国庫支出金	238,065	21,481	11,196	6,525	6,525	6,525	6,525
県支出金	208,951	312,309	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	146,521	11,190	12,049	17,270	17,270	17,270	17,270
人件費計	165,724	39,716	26,988	26,910	26,988	26,988	26,988
事務・技術（人）	18.25	4.78	3.46	3.45	3.46	3.46	3.46
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	7.54	0.76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

434 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0145
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
事務事業番号 00464 感染症予防事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-20-00-03-00	感染症予防事業費	健康保険部保健所保健予防課

【定量評価】

		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 社会福祉施設等からの感染症集団発生報告に基づく指導実	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		93.10	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 感染症情報の発信回数	回	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00
		141.00	188.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 前年度指導した施設からの感染症集団発生率	%	0.00	0.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		43.30	46.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 感染症情報を発信した関係機関の延べ数	件	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00
		6,998.00	11,427.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
	B		ほぼ妥当である			
	C		あまり妥当ではない			
	D		妥当ではない			
	評価理由		法令に基づき保健所が実施する事業のため			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
	B		やや上がっている			
	C		あまり上がっていない			
	D		上がっていない			
	評価理由		指導を実施しているが、再発率が高いため			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
	B		やや効率的である			
	C		あまり効率的でない			
	D		効率的でない			
	評価理由		効率的に情報発信し予防啓発できているため			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
	B		やや貢献している			
	C		あまり貢献していない			
	D		貢献していない			
	評価理由		市民の安心・健康な暮らしに貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	感染症予防計画を着実に推進する。 感染症の集団発生リスクの高い社会福祉施設に対しては、施設が異常を早期に探知し、適切に感染拡大防止対策を実施することにより早期に終息できるよう、研修会や出前講座を実施するとともに、所管課との連携に努める。また、重症化リスクの高い高齢者・障がい者施設で集団発生が疑われる場合は、速やかに積極的疫学調査を実施し、感染拡大を防止できるよう指導する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	平時から関係機関と連携し感染症対策及び体制整備を図るとともに、適切に情報提供や啓発活動を行い感染症の発生及び拡大の防止に努める。		

435 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

436 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0146
評価年度 令和 5年度
所属 1443
事務事業番号 00466

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所保健予防課
特定感染症予防対策事業

所属長名 井上 誠
記入者 齊田 恵津子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	002	感染症等の健康被害の発生防止				
事務事業	005	特定感染症予防対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律、特定感染症予防指針					
事業概要	（事業概要） 特定感染症【エイズ、梅毒、Ｂ型肝炎、Ｃ型肝炎、ＨＴＬＶ－１（ヒトＴ細胞白血病ウイルス１型）感染症】の早期発見・早期治療のため、保健所で匿名・無料による検査を実施している。特定感染症に関する予防・啓発、ＨＩＶ陽性者への個別支援、肝炎治療特別促進事業の受付業務を行っている。 平成３１年２月から、風しんの追加的対策の一環で、公的な予防接種の機会が無かった男性を対象に抗体検査を実施している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 新型コロナウイルス感染症の流行で全国的に検査数が減少し、令和５年度も流行以前の水準には達しておらず、大津市でも同様である。一方で、梅毒患者は増加しており、大津市でも令和４年度１６件、令和５年度１８件の発生届を受理している。 （見直しや改善等の経過） ＨＩＶの新規登録患者は２０～４０代の男性に、梅毒は若年の女性での増加が問題になっていることから、大学や専門学校、商業施設、事業所にポスター掲示や資材を設置した。また市ＨＰでの梅毒やＨＩＶのＹｏｕＴｕｂｅ動画の配信等により、若年層への性感染症予防啓発を行った。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民に対し
目的(何のために)	特定感染症の発生予防、早期発見・早期治療、感染拡大の防止および感染者への支援のために
手段(どのようなやり方で)	無料・匿名による性感染症検査・相談、リスクの高い層への予防啓発、ＨＩＶ陽性者に対する個別支援、医療機関委託による風しん抗体検査事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	特定感染症について正しく理解し、行動することができる市民が増える。感染しても個別支援により必要な医療を受け、安心して生活できる。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		47,345	42,142	27,045	14,792	14,792	14,792	14,792
事業費		40,597	27,470	17,769	5,516	5,516	5,516	5,516
	国庫支出金	24,326	15,631	8,960	2,844	2,844	2,844	2,844
	県支出金	7	4	4	11	11	11	11
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	16,264	11,835	8,805	2,661	2,661	2,661	2,661
人件費計		6,748	14,672	9,276	9,276	9,276	9,276	9,276
	事務・技術（人）	0.73	1.68	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98
	技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用（人）	0.34	0.49	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0146
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
事務事業番号 00466 特定感染症予防対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-20-00-10-00	特定感染症予防対策事業費	健康保険部保健所保健予防課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 特定感染症検査の啓発活動・H I V予防啓発活動の回数	回	45. 00	45. 00	45. 00	45. 00	45. 00	45. 00	45. 00
		77. 00	108. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(活動) 特定感染症検査実施回数（日数）	回	22. 00	22. 00	22. 00	22. 00	22. 00	22. 00	22. 00
		22. 00	23. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果) 特定感染症に関する指導・相談件数（延件数）	人	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00
		1, 451. 00	1, 383. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果) 特定感染症検査の受検者数（延人数）	人	600. 00	700. 00	800. 00	800. 00	800. 00	800. 00	800. 00
		539. 00	560. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		特定感染症予防指針に基づき実施している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		前年度と比し受検者数がやや増加している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		感染者の多い世代に啓発し、若年層の受検率が向上している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		B
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		受検者数は少ないが、受検者には予防的介入ができている			
	評価理由					

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （400文字）	若年層に対しては引き続き感染防止行動がとれるよう、また感染の可能性がある市民に対しては受検行動につながるよう、効果的な周知・啓発活動を行う。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （400文字）	特定感染症に関する正しい知識の普及・啓発に努める。また、感染者の多い世代を中心に受検者数の増加を図り、感染者の早期発見・早期治療を行うことで、感染拡大防止や発症の予防を推進する。		

438 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0147
評価年度令和 5年度
所属1443
事務事業番号00467

進捗区分評価完了
健康保険部保健所保健予防課
結核予防対策事業

所属長名井上 誠
記入者池田 守紀栄

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	002	感染症等の健康被害の発生防止				
事務事業	006	結核予防対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律					
事業概要	（事業概要） 患者発生時には患者の疫学調査、服薬療養支援、医療費の公費負担と入院勧告・就業制限に係る審議をするための感染症診査会の開催、接触者健診、精密検査を実施する。結核は市内で毎年４０～５０人発生しており、最も多い感染症の一つであることから、予防啓発活動を実施している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 結核は全国的に高齢者及び外国籍の患者が多くを占めており、大津市においても多くが高齢者である。令和５年度の大津市の結核新規登録患者数は３７人で、昨年度（４９人）より減少したが、内１２人は重症化（発病・排菌患者）してからの発見であった。 （これまでの見直し） 高齢者サロン代表者や老人クラブの理事会等に参加し結核検診の啓発を行った。介護保険集団指導において、事業者に対し、定期的結核健康診断及び結核検診の啓発を行った。また、症状があっても受診に至っていない高齢者も多く、有症時の早期受診の必要性の啓発を行った。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民及び結核患者とその接触者に対し
目的(何のために)	結核患者の早期発見、早期治療及びまん延の防止を図るために
手段(どのようなやり方で)	市民に対しては健康推進課及びすこやか相談所、あんしん長寿相談所等と連携した啓発を実施し、患者発生時には速やかな疫学調査・接触者健診、訪問等による服薬指導など療養を支援することで
成果(どのような状態にするのか)	市民が結核について理解し、検診受診・早期受診の行動をとることができる。患者においては確実に内服し、療を完遂することができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	23,811	28,206	33,350	30,027	30,027	30,027	30,027
事業費	5,622	6,752	11,588	8,265	8,265	8,265	8,265
国庫支出金	1,500	646	1,582	1,203	1,203	1,203	1,203
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,122	6,106	10,006	7,062	7,062	7,062	7,062
人件費計	18,189	21,454	21,762	21,762	21,762	21,762	21,762
事務・技術（人）	1.70	2.09	2.15	2.15	2.15	2.15	2.15
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.59	1.61	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0147
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
事務事業番号 00467 結核予防対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-20-00-15-00	結核予防対策事業費	健康保険部保健所保健予防課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)新規登録患者の内、登録時相談指導を実施できた割合。	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)治療完遂率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由	結核対策は法令に基づき市が実施しなければならない事業である				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由	治療完遂率が100%である				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由	個別の事情に合わせた支援・対応をしている				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由	市民の安心・健康な暮らしに貢献している				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	大津市の結核患者の多くが高齢者であり、介護サービス利用者も多いため、集団発生を予防するために定期健診や発症時の早期受診の必要性を周知する。また、高齢の結核患者については介護従事者に協力を得て治療完遂まで服薬支援を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	結核に関する正しい知識の普及・啓発活動を実施し、早期発見・早期治療を行うことで、感染拡大防止や発症の予防に努める。結核患者の多い高齢者層においては、利用する施設等での集団発生を予防するために定期健診や有症時の早期受診を勧めるなど、関係機関との連携を図る。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00467 結核予防対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)新規登録患者の内、登録時相談指導を実施できた割合。	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	訪問、来所、電話による対応						
(成果)治療完遂率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	治療を完遂した患者の割合						

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0148
評価年度令和 5年度
所属1443
事務事業番号00468

進捗区分評価完了
健康保険部保健所保健予防課
予防接種事業

所属長名井上 誠
記入者高谷 俊司

【基本情報】					
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします			
施策	008	保健衛生の確保			
取組の方向性	002	感染症等の健康被害の発生防止			
事務事業	007	予防接種事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	予防接種法				
事業概要	（事業概要） 市民がかかりつけ医等の身近な医療機関で自身の体調に合わせて予防接種を受けられるよう、医療機関に委託し予防接種事業を行っている。 令和４年４月からは、子宮頸がん予防ワクチンの接種機会を逃した方へのキャッチアップ接種の開始及び造血幹細胞移植後の再接種費用助成制度を開始した。 令和５年４月からは四種混合ワクチン等の接種開始時期が見直され、また、定期接種において子宮頸がん予防９価ワクチンの接種が可能となった。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 四種混合ワクチン等の接種開始時期の見直しや子宮頸がん予防ワクチンの種類が増えるなど、制度が複雑化しており、予防接種事業従事者の知識の向上がより重要となってきている。 （見直しや改善等の経過） 制度改正に伴いマニュアル等を改訂し医療機関への情報の周知に努めるとともに、間違い接種への注意喚起を行い、円滑な接種、事故防止を図っている。個別通知や接種対象者が利用する教育・福祉機関への周知、SNSを通じた啓発を行い接種率向上に努めている。				

【事業分析】					
対象(何又は誰を)	市民を対象に				
目的(何のために)	疾病の予防に有効であることが確認されているワクチンを接種することにより、疾病の発生及びまん延、重症化を予防するために				
手段(どのようなやり方で)	委託医療機関による個別接種を実施することで				
成果(どのような状態にするのか)	感染症の発生予防につなげる				

【コスト】	(単位：千円)						
	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	885,505	1,055,208	943,876	1,595,531	1,595,531	1,595,531	1,595,531
事業費	860,844	1,023,680	892,648	1,531,643	1,531,643	1,531,643	1,531,643
国庫支出金	64	90,719	45,260	49,452	49,452	49,452	49,452
県支出金	0	195	629	629	629	629	629
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	354	1,633	0	402,135	402,135	402,135	402,135
一般財源	860,426	931,133	846,759	1,079,427	1,079,427	1,079,427	1,079,427
人件費計	24,661	31,528	51,228	63,888	63,888	63,888	63,888
事務・技術（人）	1.87	3.00	5.30	6.80	6.80	6.80	6.80
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	3.25	2.54	3.09	3.39	3.39	3.39	3.39
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0148
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
事務事業番号 00468 予防接種事業

【関連予算情報】	
予算事業	予算事業番号
01-20-05-15-43-00-01-00	予防接種事業費
	予算所属名称
	健康保険部保健所保健予防課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)乳幼児・小中高の延接種者数	人	76,000.00	76,000.00	76,000.00	62,000.00	62,000.00	62,000.00	62,000.00
		74,360.00	73,218.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)高齢者インフルエンザの接種者数	人	47,000.00	47,000.00	47,000.00	48,000.00	48,000.00	48,000.00	48,000.00
		54,510.00	52,714.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)乳幼児・小中高の接種率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		90.70	90.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)高齢者インフルエンザの接種率	%	51.00	51.00	51.00	51.00	51.00	51.00	51.00
		58.00	55.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
	B		ほぼ妥当である			
	C		あまり妥当ではない			
	D		妥当ではない			
	評価理由		予防接種法に基づき市が実施する事業である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
	B		やや上がっている			
	C		あまり上がっていない			
	D		上がっていない			
	評価理由		疾病予防に有効なワクチン接種により、感染症の発生予防に寄与			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
	B		やや効率的である			
	C		あまり効率的でない			
	D		効率的でない			
	評価理由		医療機関委託による個別接種であり近くのかかりつけ医で接種可能			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
	B		やや貢献している			
	C		あまり貢献していない			
	D		貢献していない			
	評価理由		予防接種の推進により、感染症の発生及びまん延防止に貢献			
	評価理由					

【所属評価結果】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き接種率の向上や間違い接種の防止に向けて、研修会等を通して医療機関へ情報周知に努める。市民には予防接種についての必要な情報を積極的に発信していく。また、新たに加わる定期接種の動向については早期に情報を把握し、丁寧な周知に努める。

【部局評価結果】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持
部局コメント (400文字)	医療機関との連携により、予防接種の安全かつ円滑な実施に努める。また、市民に対し予防接種の必要性や有効性について周知・広報を行い、接種率の向上を図る。

444 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

445 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0149
評価年度 令和 5年度
所属 1402
事務事業番号 00479

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
歯科保健推進事業

所属長名 白須 誠義
記入者 藤崎 ともみ

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	018	歯科保健推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	健康増進法、歯科口腔保健法、大津市手数料条例、国民健康保険法、国民健康保険事業計画					
事業概要	（事業概要） 市民の口腔の健康を保持・増進するために、歯科保健推進協議会を設置し適切な事業を実施する。 成人歯科保健対策として、かかりつけ歯科を持ち、歯周病の予防・早期発見・早期治療を推進し、歯や口腔に関する意識の向上を図るため歯周病検診（30歳・35歳・40歳・45歳、妊婦）を実施する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 対象者の多くは就労者であるが、産業保健において歯周病検診はほとんど実施されていない。 （見直しや改善等の経過） 平成28年度より対象者を拡充し、30歳・35歳・40歳・45歳、妊婦を対象に実施している。節目対象者には個別受診勧奨はがきを送付、妊婦には母子手帳別冊にクーポン券の挟みこみや案内チラシを配布し周知・啓発を行っている。令和5年度より、受診率の向上および出産支援の更なる充実を図るために、妊婦の自己負担金を無料化にして実施している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	歯周病検診については30歳・35歳・40歳・45歳の市民及び妊婦（市民）を対象に
目的(何のために)	かかりつけ歯科を持ち、歯周病の予防・早期発見・早期治療を推進し、歯・口腔に関する意識の向上を図るために
手段(どのようなやり方で)	地域の登録歯科医療機関において、歯科検診及び歯科保健指導を実施し
成果(どのような状態にするのか)	自分の口腔内の状態を知り、健康管理のできる市民が増える。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		15,089	15,666	16,413	18,742	18,742	18,742	18,742
事業費		6,638	6,804	7,161	9,490	9,490	9,490	9,490
	国庫支出金	45	43	43	2,910	2,910	2,910	2,910
	県支出金	684	510	1,054	1,064	1,064	1,064	1,064
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	685	372	359	378	378	378	378
	一般財源	5,224	5,879	5,705	5,138	5,138	5,138	5,138
	人件費計	8,451	8,862	9,252	9,252	9,252	9,252	9,252
	事務・技術（人）	1.00	1.05	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
	技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用（人）	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

事務事業評価シート（2/2）

446 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0149
評価年度 令和 5年度
所属 1402
事務事業番号 00479

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
歯科保健推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-45-00	歯科保健推進事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 歯周病検診の受診者数	人	1,200.00	1,800.00	1,213.00	1,400.00	1,400.00	1,400.00	1,400.00
		1,163.00	1,180.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 歯周病検診の受診率	%	6.10	9.90	6.60	6.70	6.70	6.70	6.70
		6.40	6.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		基準			評価
評価項目	評価の観点				
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	健康増進法に基づく事業であり、市が行うのが妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	受診人数・受診率は上昇傾向にある			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	実施期間を通年とし、受診勧奨はがきを送付している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	就労世代を対象とすることで、歯周病の早期発見につながる			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	歯周病検診については、今後も受診率向上に向け、効果的な受診勧奨について関係団体と連携し、啓発強化に取り組んでいく。また歯周病検診の対象年齢の拡大について、若い頃から歯・口腔の健康に関心を持つことができるよう、20歳代を対象とする歯周病検診の実施に向けて検討していく。さらに、歯科受診勧奨や歯周病と全身疾患との関係についての普及啓発等、国保保健事業と連携し、口腔保健の推進に向けた取組みを進めていく。		

【部局評価結果】	総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	歯周病検診については、これまでの実績を踏まえ、関係団体と連携し、さらなる受診率の向上に向けた取組を進めていく。また、若い世代からの歯周病予防のさらなる推進に向け、歯周病検診の対象年齢の拡大について検討していく。			

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00479 歯科保健推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 歯周病検診の受診者数	人	1,200.00	1,800.00	1,213.00	1,400.00	1,400.00	1,400.00	1,400.00
	指標説明	1,163.00	1,180.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
歯周病検診の受診者数								
(成果) 歯周病検診の受診率	%	6.10	9.90	6.60	6.70	6.70	6.70	6.70
	指標説明	6.40	6.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
受診者数／対象者数×100								
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							

事務事業評価シート（１／２）

448 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0150
評価年度 令和 5年度
所属 1402
事務事業番号 00481

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
健康推進事業

所属長名 白須 誠義
記入者 守崎 満奈美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	020	健康推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	食育基本法、健康増進法					
事業概要	（事業概要） 健康は家庭生活の基盤であり、健康づくりのための正しい知識の普及に努めることは重要である。 この目的を達成するために、地域の健康づくりリーダーである健康推進員を平成１０年度より、本市事業として養成している（それまでは県が養成）。令和５年度の大津市健康推進員数は２９８名となっている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 健康寿命の延伸に向けて、生活習慣病の予防等の健康づくりを推進していくことは重要であり、市民の関心も高い。市民自ら健康づくりを実践するため、地域の健康づくりリーダーの養成が求められる。 （見直しや改善等の経過） 受講しやすい事業となるよう養成講座の修了に必要な時間や受講会場等を検討し、必要に応じて変更等を行い開催。広報おおつにて周知し公募を行い、活動の継続のため事前説明会を実施。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	健康推進員養成講座受講者及び大津市健康推進連絡協議会会員に
目的(何のために)	地域の健康づくりリーダーである健康推進員の養成及び、現役健康推進員の資質向上を図り、地域の健康づくりを推進するため
手段(どのようなやり方で)	養成講座（１１講座、７か月間、１会場）と、会員研修・専門研修会を開催し
成果(どのような状態にするのか)	健康推進員の養成・研修を充実し、地域の健康づくり活動を支援する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	5,501	5,094	5,194	5,260	5,260	5,260	5,260
事業費	1,601	1,584	1,684	1,750	1,750	1,750	1,750
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,601	1,584	1,684	1,750	1,750	1,750	1,750
人件費計	3,900	3,510	3,510	3,510	3,510	3,510	3,510
事務・技術（人）	0.50	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

449 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0150
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
事務事業番号 00481 健康推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-04-00	健康推進事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 会員研修・専門研修開催回数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 養成講座受講者数	人	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		11.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 養成講座開催回数	回	10.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		10.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 研修受講率（参加学区数／学区数）	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		80.00	86.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		健康おおつ２１に基づく事業であり市が実施するのが妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		研修受講率の増加がみられ、健康推進員の養成・育成が行えている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		養成講座や会員研修などで最新の知識や情報を得られている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		健康推進員が健康づくりリーダーとして地域で活躍している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	地域での健康づくり活動の推進のためには、リーダーとなる人材が必要である。会員の資質向上のため、健康おつ２１（第3次計画）・第4次大津市食育推進計画や市民の健康課題を踏まえた内容の研修を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民の健康づくりには、健康推進連絡協議会の地道な活動が欠かせないことから、地域での健康づくり活動が活発となるよう、引き続き地域活動の担い手となる健康推進員の養成や、フォローアップの研修による支援に努める。		

450 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0151
評価年度令和 5年度
所属1402
事務事業番号00489

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
基本健康診査事業

所属長名 白須 誠義
記入者 柊 亮太郎

【基本情報】					
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします			
施策	007	健康増進と地域医療の充実			
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進			
事務事業	015	基本健康診査事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	健康増進法				
事業概要	(事業概要) 健康増進法に基づき、医療保険に加入していない40歳以上の生活保護受給者等を対象に、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）予防のための基本健康診査を医療機関に委託して実施している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 生活保護受給者の増加に伴い医療扶助額も増加している。 (見直しや改善等の経過) 医療保険に加入していない方の健診が健康増進法に定められたことから実施している。平成27年度から75歳以上については後期高齢者医療制度健康診査の基準に基づき対象者を抽出している。				

【事業分析】					
対象(何又は誰を)	40歳以上で医療保険に加入していない大津市の生活保護受給者及び中国残留邦人等の支援受給者を対象に				
目的(何のために)	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）をはじめとした生活習慣病の早期発見及び重症化予防を図るため				
手段(どのようなやり方で)	市内登録医療機関において6月から翌年の1月まで基本健康診査を実施し				
成果(どのような状態にするのか)	健診受診者数及び受診率の向上を図り、医療機関で健診結果の説明を受けることで、生活習慣病予防や重症化予防に取り組む人が増える。				

【コスト】	(単位：千円)						
	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	3,900	4,730	6,105	6,300	6,300	6,300	6,300
事業費	2,730	2,482	2,921	3,116	3,116	3,116	3,116
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	1,610	1,446	1,871	2,083	2,083	2,083	2,083
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,120	1,036	1,050	1,033	1,033	1,033	1,033
人件費計	1,170	2,248	3,184	3,184	3,184	3,184	3,184
事務・技術（人）	0.15	0.28	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

452 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0151
評価年度 令和 5年度
所属 1402
事務事業番号 00489

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
基本健康診査事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-15-00	基本健康診査事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 基本健康診査受診者数	人	300.00	280.00	280.00	280.00	280.00	280.00	280.00
		264.00	234.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 基本健康診査受診率	%	10.50	9.80	10.50	10.50	10.50	10.50	10.50
		9.20	9.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		健康増進法に基づく事業であり、市が実施するのが妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		受診率は維持できている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		市内の登録医療機関で、大腸・肺がん検診と同時に受診ができる。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		生活習慣病の早期発見、早期治療につながる。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	対象者の健康を守るために更なる受診率の向上が必要。生活福祉課では、「被保護者健康管理支援事業」において基本健診未受診者に対して受診勧奨を実施している。効果的な受診勧奨となるよう、資料等の情報提供など連携していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	生活保護受給者に対する生活習慣病の早期発見のために、生活福祉課との連携を強化していく。		

453 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0152
評価年度 令和 5年度
所属 1402
事務事業番号 00563
【基本情報】
進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
特定健診・保健指導事業

所属長名 白須 誠義
記入者 谷仲 春香

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援				
事務事業	051	特定健診・保健指導事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律					
事業概要	(事業概要) メタボリックシンドロームに着目した健康診査（特定健康診査）及び保健指導（特定保健指導）の実施が医療保険者に義務付けられ、生活習慣病を中心とした疾病予防及び医療費の適正化を目指すことになった。このことにより、本市は大津市国民健康保険特定健康診査等実施計画（（４期）令和６年度～令和１１年度）を策定し、その計画に基づき事業を実施している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 国民健康保険被保険者数は減少傾向にあることから、特定健康診査の受診対象者は減少している。 (見直しや改善等の経過) 特定健康診査受診率向上のため、ＡＩ分析を取り入れた受診勧奨を実施。特定保健指導実施率向上のため、電話及び文書郵送による再勧奨を実施。集団健診受診者に対しては結果説明会を実施。					

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	４０歳から７４歳までの大津市国民健康保険被保険者
目的(何のために)	メタボリックシンドロームに着目した健診結果の該当者・予備群や生活習慣病を早期に発見し、保健指導を行うことで、生活習慣の見直しを行ない、また、重症化を予防するために医療受診につなげていくため
手段(どのようなやり方で)	特定健康診査は、個別健診を滋賀県医師会（医療機関）に、全国健康保険協会との集団健診を事業者に委託の上実施し、また特定保健指導は、医療機関や事業者に業務を委託するとともに、直営でも実施することで
成果(どのような状態にするのか)	大津市国民健康保険被保険者の健康寿命の延伸を図り、医療費の伸びの抑制を目指す。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		203,603	216,393	241,837	241,815	241,815	241,815	241,815
事業費	事業費	185,708	198,563	223,499	223,477	223,477	223,477	223,477
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	92,307	94,987	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	93,401	94,220	100,000	110,889	108,664	108,664	108,664
	一般財源	0	9,356	23,499	12,588	14,813	14,813	14,813
	人件費計	17,895	17,830	18,338	18,338	18,338	18,338	18,338
	事務・技術（人）	1.71	1.65	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67
	技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用（人）	1.47	1.55	1.66	1.66	1.66	1.66	1.66
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

455 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0152
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
事務事業番号 00563 特定健診・保健指導事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
11-25-05-05-80-00-01-00	特定健診・保健指導事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 特定健診受診者数	人	23,141.00	23,651.00	19,964.00	20,517.00	21,959.00	23,340.00	24,661.00
		16,454.00	16,369.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 保健指導実施者(終了者)数(当該年度は利用者数)	件	539.00	611.00	534.00	643.00	783.00	933.00	1,092.00
		255.00	169.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 特定健診受診率	%	48.00	50.00	42.00	44.00	48.00	52.00	56.00
		36.80	38.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 特定保健指導実施率 ※前年度法定報告の数値	%	27.00	30.00	25.00	29.00	33.00	37.00	41.00
		21.30	21.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由	高確法に基づく事業であり、市が実施するのが妥当である。				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由	特定健診受診率は増加している。				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由	受診勧奨にAIを導入。特定保健指導は直営での実施を強化。				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由	メタボの減少や生活習慣病重症化予防につながっている				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	特定健康診査の受診率向上のため、AI分析を取り入れた受診勧奨に加えてSMSによる受診勧奨を実施している。令和4年度に比べ受診率の向上がみられた。特定保健指導実施率の向上については、特定保健指導の対象者に対して、引き続き利用勧奨を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	特定健診受診率は向上しており、一定の成果が見られることから、さらなる受診率の向上に向けて、事業の推進に努めていくとともに、特定保健指導の実施率向上に向けて、効果的な利用勧奨や保健指導体制を整えていく。		

456 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0153
評価年度令和 5年度
所属1402
事務事業番号01842

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
がん検診推進事業

所属長名 白須 誠義
記入者 大泉 聡志

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	011	がん検診推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	健康増進法					
事業概要	（事業概要） がん検診の受診率向上を目指し、特定の対象者へ無料クーポン券（子宮頸がん検診、乳がん検診）や各種がん検診の受診券を個別送付する。特に女性のがん検診（子宮頸がん、乳がん検診）については、無料クーポン券（40 . 41歳）に加え、国が特に受診を推奨する年齢の方（42～69歳）全員に受診券を送付しており、受診勧奨の強化に努めている。 また、検診の結果、精密検査が必要となった後、未受診となっている方に対しても、精密検査を受診するよう個別に勧奨している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 国民の死亡原因の第一位はがんであり、年間３０万人以上の方が死亡している。本市においても、主要死因で全体の３０％前後を占めている。 （見直しや改善等の経過） 平成２８年度から、がん検診の受診率向上を図るため、従来の無料クーポン券に加え、受診券を送付することで個別の受診勧奨を実施している。また、特定の年齢の方に対して、再勧奨のはがきを送付している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に
目的(何のために)	がんの早期発見により、がんによる死亡率の減少を図るため
手段(どのようなやり方で)	特定の対象者へ無料クーポン券や受診券を送付することにより、また、精密検査未受診者への個別勧奨の実施により
成果(どのような状態にするのか)	がん検診及び精密検査の受診を促進し、がんの早期発見、早期治療につなげる。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		17,648	22,139	24,786	29,793	29,793	29,793	29,793
事業費		12,188	12,779	13,944	18,951	18,951	18,951	18,951
	国庫支出金	5,869	6,939	6,367	8,756	8,756	8,756	8,756
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	6,319	5,840	7,577	10,195	10,195	10,195	10,195
	人件費計	5,460	9,360	10,842	10,842	10,842	10,842	10,842
	事務・技術（人）	0.70	1.20	1.39	1.39	1.39	1.39	1.39
	技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

458 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0153
評価年度 令和 5年度
所属 1402
事務事業番号 01842

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
がん検診推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-15-00-25-00	がん検診推進事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)大津市がん検診受診率（69歳以下）	%	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		24.88	26.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)がん検診精密検査受診率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		95.66	96.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由	健康増進法に基づく事業であり、市が実施することが妥当である。				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由	個別に受診勧奨することで受診率は向上している。				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由	国の指針に沿った対象者への勧奨ができています。				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由	検診の受診促進により、がんの早期発見、早期治療につながる。				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	国の指針に基づき、受診勧奨の対象や内容を見直しながら、市民が継続してがん検診を受診するよう効率的な取組を進めていく。また、検診の結果、精密検査が必要となった場合に、医療機関を確実に受診するための取組を進め、がんの早期発見・早期治療につなげる。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	受診率が向上しており、がんの早期発見、早期治療に寄与している。これまでの実績を踏まえて、引き続きがん検診及び精密検査の更なる受診率向上に向けた取組を進めていく。		

459 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

460 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0154
評価年度 令和 5年度
所属 1402
事務事業番号 02672
進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
がん対策推進事業

所属長名 白須 誠義
記入者 大泉 聡志

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	014	がん対策推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	がん対策基本法、大津市がん対策推進条例					
事業概要	（事業概要） 「大津市がん対策推進条例」が平成２８年４月に施行され、がんの予防及びがんの早期発見・早期治療、がんになっても安心して暮らせるまちづくりを推進していくため、「大津市がん対策推進基本計画」（平成２９年度から令和６年度）を策定し、市民、保健医療関係者、事業者、教育関係者、市がそれぞれの役割を持ち、協働のもとでがん対策を推進していく。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	【事業を取りまく社会環境】日本人の２人に１人は一生のうちに何らかのがんに罹患すると言われ、予防、早期発見に加え、若い世代から高齢者まで様々なライフステージにおいて日常生活と療養の両立ができる支援が求められている。 【見直しや改善等の経過】平成２９年６月に大津市がん対策推進基本計画を策定し、令和３年度に中間評価を実施した。令和５年度に実施した市民・事業所対象の意識調査の結果等をもとに、令和６年度は現計画の進捗の最終評価を行い、令和７年度からの次期計画を策定する。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、保健医療関係者、事業者及び教育関係者を対象とし
目的(何のために)	がんの予防及び早期発見の推進をはじめ、療養生活の質的向上及びがん患者とその家族への支援を行うため
手段(どのようなやり方で)	大津市がん対策推進委員会に諮りながら、がん対策推進について検討を行い
成果(どのような状態にするのか)	大津市がん対策推進基本計画に基づき、８か年の計画期間において適宜見直しを行いながら、効果的な施策を展開する。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		19,227	22,287	24,708	18,303	18,303	18,653	18,303
事業費		9,389	6,763	11,460	5,055	5,055	5,405	5,055
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		713	726	745	895	895	895	895
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		862	891	0	0	0	0	0
一般財源		7,814	5,146	10,715	4,160	4,160	4,510	4,160
人件費計		9,838	15,524	13,248	13,248	13,248	13,248	13,248
事務・技術（人）		1.15	1.90	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60
技能労務（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）		0.28	0.22	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0154
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
事務事業番号 02672 がん対策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-75-00	がん対策推進事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)ホームページ「がんに関する情報サイト」の閲覧数	件	1,400.00	2,000.00	2,100.00	2,200.00	2,300.00	2,400.00	2,500.00
		1,979.00	2,013.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)アピアランスケア支援事業助成件数	件	130.00	130.00	130.00	130.00	130.00	130.00	130.00
		144.00	147.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)民間事業所におけるＴＡＣキャンペーン活動数	機関	0.00	0.00	20.00	30.00	40.00	50.00	60.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ＴＡＣキャンペーン活動数	機関	500.00	200.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		113.00	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由	市の計画に基づく事業であり、市が実施することが妥当である。				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由	計画に基づく施策目標が概ね達成できている。				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		B
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由	関係機関と連携し、より効果的な事業の展開が必要。				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由	がん対策の取組の推進によりがん予防や早期発見に貢献している。				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	引き続き関係機関と連携しながら、がん検診受診率の向上や、日常生活と療養の両立支援の強化を図るための取組を進める。また、ホームページ「がんに関する情報サイト」の内容を充実させるとともに、「大津市がんについて考える日」やＴＡＣキャンペーンを市民や事業所に広く周知し認知度を高めるために、関係機関との連携強化により、がんに関する正しい知識の普及につなげる。さらに、アピアランスケア支援事業について、助成対象品目の拡充の検討を進める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	がん対策推進基本計画に基づき、市民、保健医療関係者、事業者、教育関係者等との連携をさらに強化し、事業を推進していくとともに、アピアランスケア支援事業の拡充に向け検討を進め、がん患者の支援の充実を図る。また、がん対策推進委員会に諮りながら、令和7年度からの次期計画の策定を進めていく。		

462 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0155
評価年度 令和 5年度
所属 1475
事務事業番号 00482

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所母子保健課
乳幼児健診事業

所属長名 多賀 尚幸
記入者 平田 史子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	013	乳幼児健診事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	母子保健法、児童福祉法					
事業概要	(事業概要) 乳幼児の健康状態を把握し、疾病の早期発見・早期治療につなげることを目的に、乳幼児健診を４か月、１０か月、１歳９か月、２歳６か月、３歳６か月の時期に実施している。更に乳児期の育児支援の場として、赤ちゃん相談会を実施している。事後指導として、発達相談、育児相談などを実施し、発達支援療育事業、療育前早期対応親子教室、医師による発達外来等につなぎ、発達支援や育児支援を行っている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 疾病の早期発見、発達障害や児童虐待の早期発見と育児支援の相談窓口として、乳幼児健診の果たす役割は大きい。新型コロナウイルス感染症の影響で令和２年度に約４か月間健診を中止していたため、乳幼児健診を受ける時期が遅れている状況が続いていた。 (見直しや改善等の経過) 新型コロナウイルス感染症の影響で健診対象時期が遅れたが、令和５年１２月にその遅れを解消した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	乳幼児とその保護者に
目的(何のために)	乳幼児の疾病や発達障害及び養育困難（育てにくさや育児力の課題）の早期発見と育児支援のために
手段(どのようなやり方で)	４か月児健診は個別医療機関委託、その他は直営集団方式で実施している。健診の結果、発達支援が必要な場合は、すこやか相談所等と連携し、個別支援を行い
成果(どのような状態にするのか)	乳幼児の疾病や発達障害及び養育困難を早期に発見し、迅速に支援を開始することで、すべての子どもの健やかな発達を保障し、また保護者の育児不安、養育困難の軽減を図り虐待予防に寄与する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	134,243	126,045	141,400	146,310	143,985	143,985	143,985
事業費	29,891	27,115	29,572	34,482	32,157	32,157	32,157
国庫支出金	774	285	281	2,628	1,466	1,466	1,466
県支出金	0	139	1,400	1,460	1,460	1,460	1,460
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	3,400	2,785	83	0	0	0	0
一般財源	25,717	23,906	27,808	30,394	29,231	29,231	29,231
人件費計	104,352	98,930	111,828	111,828	111,828	111,828	111,828
事務・技術（人）	9.42	8.18	9.82	9.82	9.82	9.82	9.82
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	9.96	10.87	11.01	11.01	11.01	11.01	11.01
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0155
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1475 健康保険部保健所母子保健課
事務事業番号 00482 乳幼児健診事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-15-00-01-00	乳幼児健診事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 受診者数	人	13, 848. 00	13, 289. 00	12, 542. 00	12, 613. 00	12, 396. 00	12, 164. 00	11, 951. 00
		13, 147. 00	13, 430. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果) 受診率	%	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00
		88. 50	94. 40	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

【定性評価】		基準			評価
評価項目	評価の観点				
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	母子保健法等に基づく事業であり市が実施することは妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	受診者数、受診率ともに上昇している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	心身発達や育児支援を多角的に分析し評価している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	乳幼児やその保護者の支援の手立てとなっている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	乳幼児健診が、疾病の早期発見・早期治療と保護者の育児支援の相談窓口となることを目指している。保護者に健診の重要性について理解を得られるよう啓発に努めて受診率の向上を図る。また、保護者が安全安心に乳幼児健診を受けられるように、健診内容の質の向上に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	受診率の向上により、乳幼児の疾病、発達障害及び養育困難の早期発見につながっている。引き続き、更なる受診率の向上を目指し、市民への周知啓発を行うとともに、安全安心な健診の実施に努める。		

465 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0156
評価年度令和 5年度
所属1475
事務事業番号00483

進捗区分
健康保険部保健所母子保健課
母性保健事業

評価完了
所属長名
記入者

多賀 尚幸
米丸 和花菜

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	014	母性保健事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	母子保健法					
事業概要	(事業概要) いきいきと楽しく豊かな子育てを実現する親が増えるためには、思春期からの健康教育や、妊娠中からの母性父性の教育が必要である。性に関する健康教育、マタニティサロン、両親教室等を実施することにより安心で健やかな妊娠・出産・子育てを支援していく。令和5年2月より子ども・子育て支援法、児童福祉法の改正に伴い伴走型相談支援事業（妊娠期から出産子育てまで一貫して子育て家庭に寄り添い、さまざまなニーズに即した支援につなぐ）を経済的支援と一体的に実施。令和5年度から多胎児家庭育児支援事業（ホームヘルパーの派遣）を、母性保健事業に編入して取り組んでいる。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 妊婦とそのパートナーが核家族化や地域との交流の減少により、新生児や乳児と接する機会が少なく、出産・育児についての情報を得る機会も減少している。そのため、出産・育児に関して見通しがもてなかったり、産後うつ状態になる傾向が見受けられる。 (見直しや改善等の経過) 伴走型相談支援事業の一環として、令和5年度から妊娠8か月頃アンケートを開始した。また、若いころから、妊娠や将来のライフプランを考えて日々の健康づくりに取り組むというプレコンセプションケアについての啓発として、市内小学校6年生の児童を対象に啓発資料を配布した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	思春期の若者、妊産婦及びそのパートナー、子どもとその保護者が
目的(何のために)	健やかな妊娠・出産・育児ができ、子どもが健やかに育つため
手段(どのようなやり方で)	プレコンセプションケアの啓発、妊娠期の教室等による妊娠・出産・育児についての情報提供や仲間作りの機会の提供、伴走型相談支援事業、多胎児家庭育児支援事業等を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	心身の健康の保持ができ、安心して妊娠・出産・育児をすることができる

【コスト】(単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	34,617	39,577	40,392	40,587	40,587	40,587	40,587
事業費	13,085	8,083	6,502	6,697	6,697	6,697	6,697
国庫支出金	8,868	2,520	1,380	1,192	1,192	1,192	1,192
県支出金	118	939	1,018	1,056	1,056	1,056	1,056
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,099	4,624	4,104	4,449	4,449	4,449	4,449
人件費計	21,532	31,494	33,890	33,890	33,890	33,890	33,890
事務・技術（人）	2.22	2.77	3.11	3.11	3.11	3.11	3.11
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.36	3.09	3.01	3.01	3.01	3.01	3.01
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

467 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0156
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1475 健康保険部保健所母子保健課
事務事業番号 00483 母性保健事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-20-00-01-00	母性保健事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) マタニティサロン母親学級 実施回数	回		13.00	13.00	13.00	11.00	11.00	11.00	11.00
			13.00	13.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 初めてのパパママ教室の実施回数	回		9.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00
			18.00	18.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 仲間づくりに役立ったと答える妊婦割合	%		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			84.31	78.18	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 父親の役割についてよくわかった人の割合	%		60.00	60.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			73.63	80.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		母子保健法等に基づく事業であり、市が実施することが妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		教室参加者の約 8 割が仲間作りや役割理解に役立ったと回答			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		教室参加者の満足度は高い。教室の一部は委託により実施。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		妊娠から出産、育児へと切れ目ない支援の役割を果たしている。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	対象者の心身の健康状態や家庭の状況について適切に評価を行い、必要な支援に努める。プレコンセプションケア、パパママ教室及び多胎児家庭支援事業等の実施により、社会状況の変化に対応した支援を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	パパママ教室参加者の父親の役割がよくわかった人の割合が増え、多胎児家庭育児支援事業利用率も増えている。引き続き、健やかな妊娠期を過ごし、安心して子育てができるよう、社会状況の変化を踏まえ、計画的・継続的に事業を推進していく。		

468 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0157
評価年度令和 5年度
所属1475
事務事業番号00485

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所母子保健課
産後うつ対策事業

所属長名 多賀 尚幸
記入者 北村 敦

【基本情報】					
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	001	子ども・子育て支援の充実			
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援			
事務事業	015	産後うつ対策事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	母子保健法				
事業概要	(事業概要) 看護職が新生児のいる家庭を訪問し、母子および家族の養育環境を踏まえた相談を行い、必要に応じて継続支援や医療機関受診につなげる。また、乳児期早期の母親の育児不安の軽減と虐待予防を目的に親子の絆づくりプログラム“ＢＰプログラム”、産後ケア事業を実施している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 核家族化の進行等により育児中の親が孤立し、ＳＮＳから誤った情報を取得するケースがあり、育児中の親に適切な情報を提供することが重要になる。 (見直しや改善等の経過)市内７か所のすこやか相談所に助産師を配置し、育児に関する相談体制を強化。妊娠中から切れ目のない支援を行い、新生児訪問等において産後の心身の不調を訴える者に対し、適切なアセスメントを行い産後ケア事業につなぐ。新生児訪問に関しては、電子申請を新たに導入し利用しやすい環境を整備。“ＢＰプログラム”は、１０組定員で、１０クール実施。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	主に新生児とその親が
目的(何のために)	妊産婦とそのパートナー及び乳児の健康の保持増進のため
手段(どのようなやり方で)	母子健康手帳交付時に産後うつの啓発。新生児訪問、産後うつスクリーニングの実施。伴走型相談支援事業で妊産婦支援の充実を図る。親子の絆づくりプログラム“ＢＰプログラム”を実施。産後の心身のケアや育児サポート等を行い、産後も安心して子育てできる支援体制を確保する目的で産後ケア事業を実施することにより
成果(どのような状態にするのか)	新生児が健康に育つ。産後の女性が必要に応じて、心身の状態や育児について相談でき、安心して子育てを行っていくことができる。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		48,732	51,535	53,271	58,824	58,824	58,824	58,824
事業費		2,343	4,633	4,567	10,120	10,120	10,120	10,120
	国庫支出金	1,096	2,417	2,239	4,872	4,872	4,872	4,872
	県支出金	149	113	86	373	373	373	373
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,098	2,103	2,242	4,875	4,875	4,875	4,875
	人件費計	46,389	46,902	48,704	48,704	48,704	48,704	48,704
事務・技術（人）		3.67	3.01	3.20	3.20	3.20	3.20	3.20
	技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用（人）	5.73	7.32	7.42	7.42	7.42	7.42	7.42
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0157
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1475 健康保険部保健所母子保健課
事務事業番号 00485 産後うつ対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-20-00-05-00	産後うつ対策事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) B Pプログラム実施回数		回	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
			40.00	40.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 新生児訪問実施率		%	93.00	93.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			84.29	99.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) B P教室 定員充足率		%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			96.00	97.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 母親がイライラしたり、気分が落ちこむと回答した割合		%	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
			12.54	11.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		母子保健法に基づく事業であり、市が実施するのが妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		定量評価項目が良好な結果となっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		利用しやすい方法を検討し、利用者の増加につながっている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		妊娠期から出産、育児へと切れ目ない支援の役割を果たしている			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	産後に心身の不調を訴えるものに対する産後ケアへのつなぎやB Pプログラムで適正な情報提供を行うなど切れ目ない支援により、健康で安心して育児ができるよう事業を推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	新生児訪問実施率とB Pプログラムの定員充足率が増えており、利用した母親の精神的な安定に寄与している。引き続き、子育て中の親や子の心身状況の早期把握に努め、妊娠期から切れ目ない支援により、安心して育児が行えるよう事業を推進していく。		

471 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0158
評価年度令和 5年度
所属1475
事務事業番号01887

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所母子保健課
妊婦健診事業

所属長名 多賀 尚幸
記入者 北村 敦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	016	妊婦健診事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	母子保健法					
事業概要	(事業概要) 安心で安全な出産のために、妊婦と胎児の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため、妊婦に対する保健指導及び健康診査に対する公費負担を実施する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 出産年齢の上昇等により、健康管理がより重要となる妊婦が増加傾向にあると共に、経済的な理由等により必要な健康診査を見合わせる妊婦も見られることから、母体や胎児の健康を確保する上で、妊婦に対する保健指導及び健康診査の重要性、必要性が一層高まっている。 (見直しや改善等の経過) 単体妊婦は、基本受診券１４枚、検査券を１０枚発行しているが、多胎妊婦はリスクの早期発見のため、令和３年度以降基本受診券を５枚、検査券（超音波検査）２枚を追加発行している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	妊婦が
目的(何のために)	母体や胎児の健康保持のため
手段(どのようなやり方で)	母子健康手帳交付、妊婦健診受診券交付、妊婦相談を行うことにより
成果(どのような状態にするのか)	全ての妊婦が安全な妊娠と出産ができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	226,347	215,270	364,298	380,753	375,245	371,615	368,108
事業費	209,735	198,926	327,084	343,539	338,031	334,401	330,894
国庫支出金	139	153	12,462	12,150	11,945	11,810	11,680
県支出金	0	0	40,000	51,541	50,670	50,095	49,536
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	209,596	198,773	274,622	279,848	275,416	272,496	269,678
人件費計	16,612	16,344	37,214	37,214	37,214	37,214	37,214
事務・技術（人）	1.47	1.32	2.97	2.97	2.97	2.97	2.97
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.66	1.89	4.39	4.39	4.39	4.39	4.39
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

473 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0158
評価年度 令和 5年度
所属 1475
事務事業番号 01887

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所母子保健課
妊婦健診事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-20-00-10-00	妊婦健診事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 母子健康手帳、 受診券交付者数	人	2,405.00	2,414.00	2,400.00	2,435.00	2,304.00	2,277.00	2,251.00
		2,407.00	2,270.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 妊娠初期での母 子健康手帳交付割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		96.59	97.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 妊婦健康診査受 診券利用率	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		88.18	87.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		母子保健法に基づく事業であり、市が実施するのが妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		妊娠初期に母子手帳を発行し適切な指導が行えている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		県内統一で事務処理をしており、効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		妊娠から出産、育児へと切れ目ない支援の役割を果たしている。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	全ての妊婦の経済的負担を軽減し、健やかに安心して出産できるよう令和6年度から妊婦健康診査の無料化を実施する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	妊娠初期での母子手帳交付率が増加しており、妊娠中の適切な健康管理につながっている。全ての妊婦の経済的負担を軽減し、健やかに安心して出産できるよう、令和6年度から妊婦健康診査の無料化を実施する。		

474 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

475 頁
令和 6年 9月18日

整理番号0159
評価年度令和 5年度
所属1427
事務事業番号02392

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所子ども発達相談センター
子ども発達相談事業

所属長名 龍田直子
記入者 高橋宏司

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002	子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	003	一貫した子どもの発達支援				
事務事業	002	子ども発達相談事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	発達障害者支援法					
事業概要	（事業概要） 発達等課題をもつ幼児から中学生とその保護者を対象に、専門相談、保護者支援、校園等との連携を行い、子どもの育ちと保護者の子育てを支える。また、市民公開講座や関係職員を対象とした研修を実施し、子どもの発達支援に関する知識の普及を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 子どもを取り巻く環境の変化に伴い、相談内容は複雑多様化している。また、市民の利便性や、関係機関との迅速な連携のために、オンラインでの実施も必要である。 （見直しや改善等の経過） 平成27年2月のセンター開設以来、年々増加する相談ニーズに対応するため、専門職員の充実を図ってきた。また、オンラインによる相談、カンファレンス、講演会も実施している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	発達等に課題をもつ、3歳6か月児健診後の幼児から中学生とその保護者、所属校園等を対象に
目的(何のために)	低年齢から学齢期を通じた継続的な相談により、子どもの育ちと保護者の子育てを支えることを目的として
手段(どのようなやり方で)	医師や発達相談員等による専門相談、保健師等による保護者支援、校園等との連携、関係職員を対象とした研修、市民公開講座やホームページを通じた地域への発信等を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	保護者および校園等を含む地域全体の、子どもに対する理解が深まり、適切な養育、保育、教育等を通じて、子どもの健全な育成につながる

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		78,014	75,662	80,435	84,100	84,100	84,100	84,100
事業費		7,471	7,072	8,057	8,650	8,650	8,650	8,650
国庫支出金		986	108	0	319	319	319	319
県支出金		493	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	500	0	0	0	0
その他		200	300	0	0	0	0	0
一般財源		5,792	6,664	7,557	8,331	8,331	8,331	8,331
人件費計		70,543	68,590	72,378	75,450	75,450	75,450	75,450
事務・技術（人）		4.70	4.65	5.55	5.55	5.55	5.55	5.55
技能労務（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）		10.93	10.10	9.09	10.05	10.05	10.05	10.05
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0159
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1427 健康保険部保健所子ども発達相談センター
事務事業番号 02392 子ども発達相談事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-15-00-20-00	子ども発達相談事業費	健康保険部保健所子ども発達相談センター

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)相談支援のべ件数	件	7,150.00	7,200.00	7,250.00	7,300.00	7,350.00	7,350.00	7,350.00
		7,571.00	7,181.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)相談実人数	人	1,050.00	1,100.00	1,150.00	1,200.00	1,250.00	1,250.00	1,250.00
		1,111.00	1,124.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)関係機関連携件数	件	2,450.00	2,500.00	2,550.00	2,600.00	2,650.00	2,650.00	2,650.00
		2,913.00	2,884.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)報告書等作成件数	件	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
		966.00	849.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		根拠法令に基づき、発達障害児等の市民相談に対応している。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		相談支援の早期開始と、学齢期を通じた継続支援ができている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		増加する相談ニーズに限られた体制で対応している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		子育て支援及び次世代を育むことに寄与している。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	年々増加し、複雑化・多様化する相談ニーズに対し、職員の専門性向上と積極的な関係機関連携はもとより、相談体制の充実（オンライン化）や、市民への情報発信（ホームページ、講演会）も行い、工夫して対応している。引き続き就学前からの相談開始に重点をおき、幼児期から学齢期まで一貫性と継続性をもった親子への相談支援の充実を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	発達に課題のある子どもの養育、保育、教育を支える機関として、相談実績を積み上げている。複雑多様化する相談内容にも引き続き専門性をもって対応し、関係機関とも連携しながら子育ての支援を行う。		

477 頁
令和 6年 9月18日

評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了
所属	1427	健康保険部保健所子ども発達相談センター	
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
事務事業番号	02392	子ども発達相談事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]